

仏教に関する実態把握調査（2020年度 臨時調査） 報告書

～新型コロナウイルス感染症が仏教寺院に与える影響～

Ver.1.02

調査概要	...	2
回答者プロフィール	...	3
自身の菩提寺の有無	...	4
仏教関与	...	5
調査結果	...	6
1. お盆法要について		
① お盆の実施状況（例年、今年、これから）	...	8
② 今後の実施状況予測（お寺を支える中心となっている人）	...	9
③ お盆のお布施の支払状況（例年、今年、これから）	...	10
④ お盆の布施金額 地域間格差と今後の予測	...	11
⑤ お盆の布施金額帯別の件数から読み取れること	...	12
2. お彼岸法要について		
① お彼岸の実施状況（例年、今年、これから）	...	14
② 今後の実施状況予測（お寺を支える中心となっている人）	...	15
③ お彼岸のお布施の支払状況（例年、今年、これから）	...	16
④ お彼岸の布施金額 地域間格差と今後の予測	...	17
⑤ お彼岸の布施金額帯別の件数から読み取れること	...	18
3. 新型コロナウイルス感染症の影響把握		
① お彼岸の影響把握（今年の「お彼岸」の非実施理由より）	...	20
② お盆の影響把握（今年の「お盆」の非実施理由より）	...	21
③ 寺院との関係性からみる影響把握	...	22

4. 菩提寺との関わり		
① 菩提寺の満足度と今後の付き合い方	...	24
② コロナ禍における菩提寺との接点と満足度	...	25
③ コロナ禍における菩提寺からの連絡状況	...	26
④ 菩提寺からの連絡に対する反応（好反応）	...	27
⑤ 菩提寺からの連絡に対する反応	...	28
⑥ 菩提寺のコロナ対策認識状況	...	29
5. 直葬について		
① 直葬への印象と今後の葬儀意向	...	31
6. お寺のDX（デジタルトランスフォーメーション）について		
① 僧侶派遣と各種オンラインサービス	...	33
② お寺のデジタルトランスフォーメーション（オンラインツール）	...	34
③ お寺のデジタルトランスフォーメーション（キャッシュレス）	...	35
7. コロナ禍において寺院・僧侶に期待すること		
① 今後、寺院・僧侶に求める役割	...	37

★菩提寺…葬儀や法事を執行するなど、お付き合いのある寺院を指します。

報告書内の記述について

※n=30未満は参考値として記載

- 調査目的 : ウィズコロナにおける「お盆」「お彼岸」や、「菩提寺」「寺院」との関わり方や、「葬儀」への考え方などを把握し、今後の寺院としての在り方・取り組みなどにおける基礎資料として活用する。
- 調査対象 : インターネット調査会社モニタ 20～79歳の男女
- 調査地域 : 全国
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 【事前調査】2020年8月20日（木）～ 8月22日（土）
【本調査】 2020年8月21日（金）～ 8月22日（土）
- 有効回答数 : 【事前調査】10,000サンプル ※人口動態で呼集
【本調査】 6,192サンプル（菩提寺あり：3,720サンプル／菩提寺なし：2,472サンプル）

WB後	都心（一都三県、二府二県、愛知）												合計
	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	男性70代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	女性70代	
菩提寺あり	67	131	153	154	206	176	94	118	141	131	197	94	3,115
菩提寺なし	111	132	145	108	102	98	114	144	155	131	157	55	1,452

	地方												合計
	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	男性70代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	女性70代	
菩提寺あり	86	132	195	184	236	126	92	133	177	174	202	249	3,077
菩提寺なし	88	121	119	72	63	38	101	107	128	84	74	98	1,092

- 調査主体 : 公益財団法人 全日本仏教会
大和証券株式会社

- 調査実施機関 : インターネット調査会社

- 出典の記載について : コンテンツを利用する際には出典を記載してください。出典の記載方法は以下の通りです。
【出典記載例】

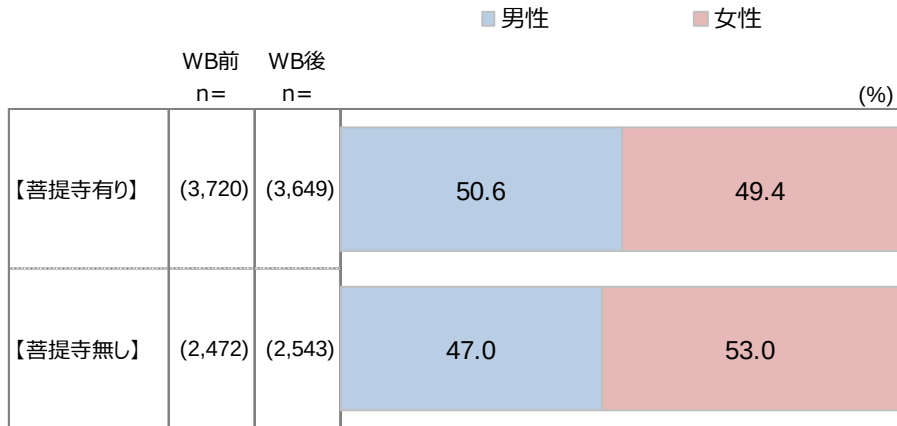
出典：「仏教に関する実態把握調査（2020年度）」（公益財団法人全日本仏教会、大和証券株式会社）

■ ウェイトバック（WB）について

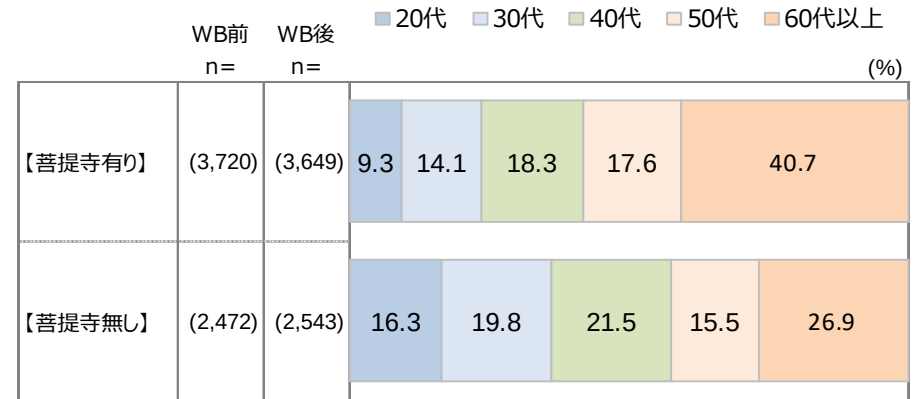
今回の本調査について、アンケート回答者の割合が事前調査で得られた各性別×年代の出現率と同じになるようにウェイトバック係数をかけて集計されています。

※全体ベース

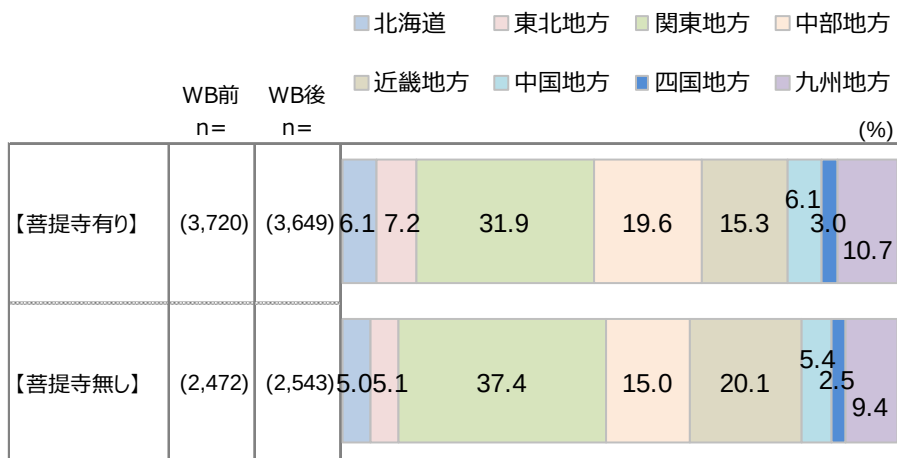
性別



年齢（10代きざみ）



居住地



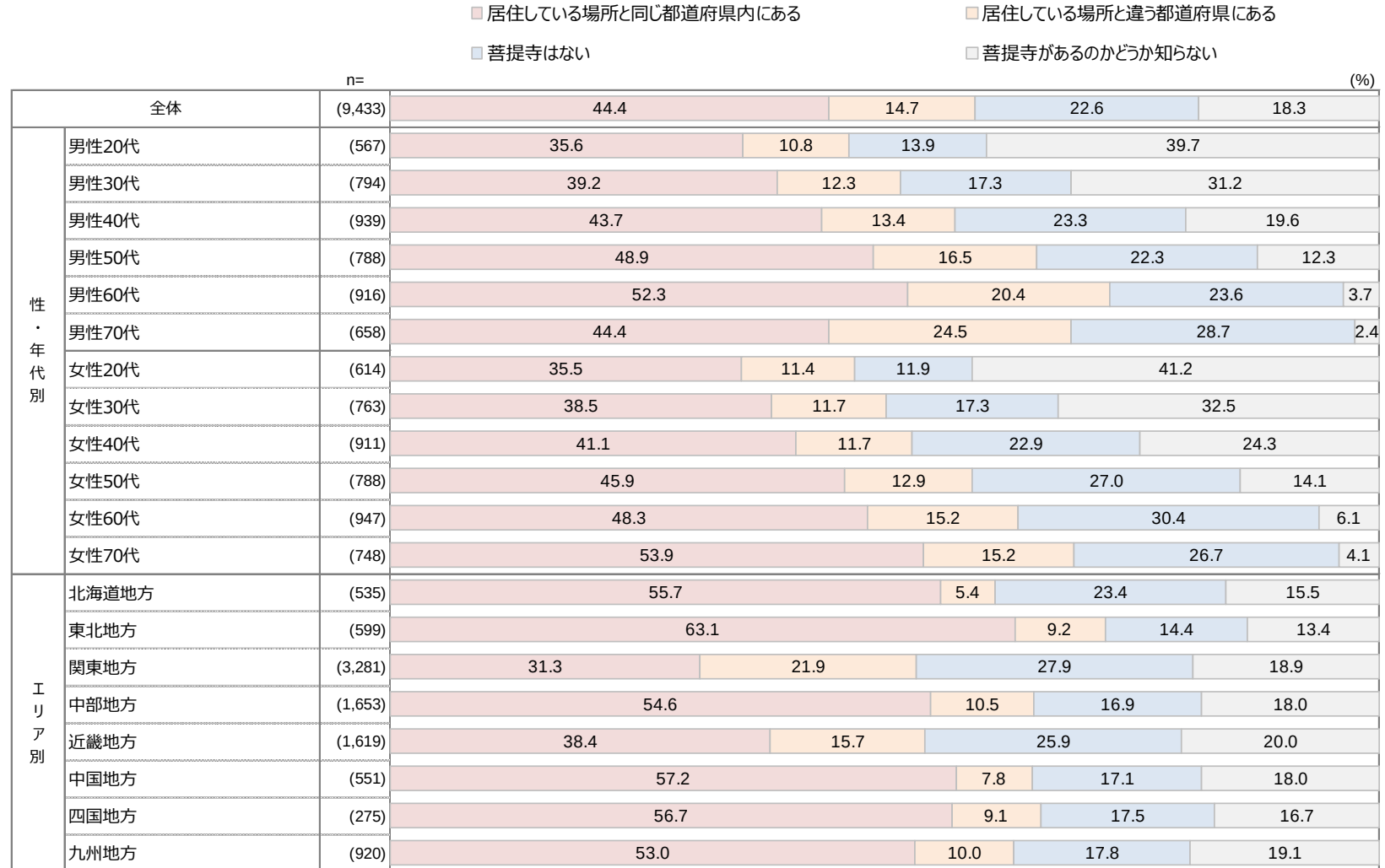
自身の菩提寺の有無

SQ4 ご自身の菩提寺の所在地として、あてはまるものをお選びください。

SA

※全体（事前調査ベース）

★菩提寺…葬儀や法事を執行するなど、お付き合いのある寺院を指します。



Q1 “仏教”について、あなたご自身の関心、理解、信仰心についてお教えてください。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

SAM

※全体ベース

【A】仏教にとっても関心を持っている方
【B】仏教に全く関心を持っていない方

【A】仏教を深く理解している方
【B】仏教を全く理解できていない方

【A】仏教に対する信仰心は非常に高い方
【B】仏教に対する信仰心は全くない方

■ Aに近い
■ どちらかといえばAに近い
■ A, Bどちらでもない
■ どちらかといえばBに近い
■ Bに近い

■ Aに近い
■ どちらかといえばAに近い
■ A, Bどちらでもない
■ どちらかといえばBに近い
■ Bに近い

■ Aに近い
■ どちらかといえばAに近い
■ A, Bどちらでもない
■ どちらかといえばBに近い
■ Bに近い

		WB前 n=	WB後 n=	どちらかといえばBに近い Bに近い					(%)	A計	B計	どちらかといえばBに近い Bに近い					(%)	A計	B計	どちらかといえばBに近い Bに近い					(%)	A計	B計
菩提寺 有無別	【菩提寺有り】	(3,720)	(3,649)	7.2	23.7	24.5	24.5	20.1		30.9	44.5	3.5	17.4	31.5	29.3	18.4		20.9	47.7	4.4	18.6	31.2	26.6	19.2		23.0	45.8
	【菩提寺無し】	(2,472)	(2,543)	12.5	19.7	23.5		41.7		15.0	65.2	8.5	23.7	28.7		37.6		10.0	66.3	8.0	24.5	24.9		41.3		9.3	66.2
菩提寺 有無 × 地方 × 年代別	【菩提寺有り】_都会_20・30代	(620)	(411)	7.3	18.3	22.1	24.1	28.2		25.6	52.3	5.6	14.7	22.4	30.3	27.0		20.3	57.3	6.7	11.5	26.6	27.7	27.5		18.2	55.2
	【菩提寺有り】_都会_40・50代	(620)	(580)	6.8	22.2	21.8	23.3	25.9		29.0	49.2	17.9	27.3	31.1	21.9		19.7	53.0	16.8	27.2	29.4	23.6		19.9	52.9		
	【菩提寺有り】_都会_60代以上	(620)	(673)	9.3	24.2	24.8	26.9	14.8		33.5	41.7	3.6	21.5	34.2	27.6	13.0		25.2	40.6	3.4	23.7	30.4	28.7	13.8		27.1	42.5
	【菩提寺有り】_地方_20・30代	(620)	(443)	7.6	20.1	17.2	25.5	29.7		27.7	55.2	13.3	21.8	33.2	27.6		17.4	60.8	6.1	14.5	24.0	25.4	30.0		20.6	55.3	
	【菩提寺有り】_地方_40・50代	(620)	(730)	4.2	25.2	28.4	22.6	19.6		29.4	42.2	12.3	37.3	28.5	19.2		15.0	47.7	15.6	36.5	25.3	19.0		19.2	44.3		
	【菩提寺有り】_地方_60代以上	(620)	(812)	8.2	27.9	28.0	24.5	11.4		36.1	35.9	3.9	21.8	36.7	27.4	10.2		25.6	37.7	4.6	24.3	36.2	23.9	10.9		29.0	34.8
	【菩提寺無し】_都会_20・30代	(412)	(501)	10.6	16.6	18.7		53.2		11.6	71.8	6.8	21.4	22.2	49.2		7.2	71.4	6.7	20.7	20.6	51.6		7.1	72.2		
	【菩提寺無し】_都会_40・50代	(412)	(539)	2.1	13.8	19.0	25.7	39.3		16.0	65.0	9.1	23.1	27.8	38.2		10.9	66.0	10.4	24.2	24.5	40.1		11.2	64.6		
	【菩提寺無し】_都会_60代以上	(412)	(412)	5.3	16.9	25.0	24.1	28.6		22.2	52.7	11.9	28.4	34.8	21.9		14.9	56.7	9.9	28.2	29.9	29.3		12.6	59.2		
	【菩提寺無し】_地方_20・30代	(412)	(417)	9.3	14.1	21.3		52.8		11.7	74.2	1.2	19.2	25.6	48.6		6.5	74.2	5.2	20.6	20.6	52.1		6.7	72.7		
	【菩提寺無し】_地方_40・50代	(412)	(403)	11.4	22.7	24.4		40.3		12.7	64.6	7.7	22.5	32.6	36.2		8.7	68.8	6.6	26.0	26.5	39.9		7.6	66.4		
	【菩提寺無し】_地方_60代以上	(412)	(273)	4.1	23.0	23.1	29.3	30.4		17.2	59.7	11.2	30.6	32.3	24.0		13.1	56.3	9.2	30.5	29.9	28.6		10.9	58.5		
菩提寺へ の満足度 別	満足層	(1,546)	(1,515)	11.9	33.6	23.7	20.5	10.4		45.4	30.9	5.6	26.3	32.6	25.1	10.3		31.9	35.4	7.7	29.4	32.0	20.9	10.1		37.0	31.0
	中庸	(1,822)	(1,777)	3.8	16.9	26.1	26.8	26.4		20.7	53.2	10.8	30.9	32.4	24.0		12.6	56.5	11.0	32.0	30.5	24.6		13.0	55.0		
	不満層	(352)	(357)	4.5	15.7	20.5	29.9	29.4		20.2	59.3	12.3	29.3	31.1	24.8		14.8	55.9	11.0	23.9	31.1	31.7		13.3	62.8		

※A計（「Aに近い」+「どちらかといえばAに近い」）、B計（「Bに近い」+「どちらかといえばBに近い」）

調査結果

1. お盆法要について

1 - ①. お盆の実施状況（例年、今年、これから）

コロナ前後で「お盆」にお経をあげてもらった割合が低下し、今後の意向も4人に1人留まる。地方で菩提寺のある人の実施率が高い。

- 例年、「毎年/節目」で「お盆」にお経をあげてもらっている人は31.4（16.6+14.8）%。また「以前」はお経をあげてもらった人まで含めると49.7%。
- 今年（コロナ禍）は「予定」も含めて20.2%に留まる点からもコロナの影響が窺える。なお「今後の意向あり」は25.8%。
- 例年、今年ともに菩提寺が「ある人」のほうが「ない人」よりも「お盆」にお経をあげてもらっており、「今後の意向あり」も36.6%となる。
- 菩提寺がある人のうち、都会よりも地方で例年、今年の実施率が高い。

「お盆」にお経をあげてもらっているか

※全体ベース

WB前n=30以上の場合

[比率の差]



例年（Q2）

今年（Q4）

今後（Q7）

全体			(6,192)	(6,192)	16.6	14.8	18.4	50.3
菩提寺 有無別	【菩提寺有り】		(3,720)	(3,649)	24.5	19.4	20.9	35.2
	【菩提寺無し】		(2,472)	(2,543)	5.2	14.7	71.9	
菩提寺 有無 × 地方 × 年代別	【菩提寺 有り】	都会_20・30代	(620)	(411)	23.3	23.4	15.3	38.0
		都会_40・50代	(620)	(580)	21.2	18.3	18.8	41.6
		都会_60代以上	(620)	(673)	19.8	15.2	26.1	38.9
		地方_20・30代	(620)	(443)	25.1	22.1	20.6	32.2
		地方_40・50代	(620)	(730)	24.5	21.9	18.2	35.4
		地方_60代以上	(620)	(812)	30.8	17.9	23.6	27.7
	【菩提寺 無し】	都会_20・30代	(412)	(501)	5.1	18.4	13.0	73.5
		都会_40・50代	(412)	(539)	3.6	8.1	14.5	75.4
		都会_60代以上	(412)	(412)	6.1	4.9	18.7	70.3
		地方_20・30代	(412)	(417)	5.9	14.3	12.5	67.4
		地方_40・50代	(412)	(403)	6.6	7.5	13.1	72.8
		地方_60代以上	(412)	(273)	5.2	6.5	17.9	70.5

※あげてもらった計（「毎年お経をあげてもらっていた」+「節目でお経をあげてもらっていた」+「以前はお経をあげてもらっていたが、ここ数年はない」）

あげ
てもら
った
計

（%）

16.5	3.6	79.8	20.2
23.3	3.6	73.1	26.9
6.8	3.7	89.5	10.5
19.2	5.3	75.5	24.5
18.1	3.8	78.1	21.9
18.6	3.3	78.2	21.8
26.3	3.3	70.5	29.5
24.1	3.4	72.5	27.5
30.9	3.2	66.0	34.0
6.9	4.7	88.4	11.6
5.7	3.8	90.5	9.5
4.9	2.4	92.7	7.3
8.8	4.4	86.8	13.2
9.3	3.9	86.8	13.2
5.1	2.1	92.8	7.2

※あげてもらった計（「お経をあげてもらった」+「これからお経をあげてもらう予定」）

あげ
てもら
う計

14.5	11.3	52.0	22.2
21.4	15.1	43.4	20.0
4.5	5.8	64.2	25.5
17.4	22.5	38.1	22.0
17.5	14.7	47.0	20.8
19.0	14.0	51.4	15.6
22.2	16.8	35.8	25.2
21.1	13.6	41.5	23.8
28.3	13.2	42.9	15.6
4.9	6.3	62.5	26.3
3.5	5.1	64.5	26.9
5.0	6.8	72.8	15.4
5.1	5.7	54.7	34.5
4.8	5.2	62.9	27.1
4.0	6.0	69.9	20.1

※意向有り計（「コロナが収束したら、お経をあげてもらう予定」+「コロナ収束の状況にかかわらず、お経をあげてもらう予定」）

意向有
り計

25.8	36.6	10.4	39.8	32.2	33.0	39.0	34.7	41.4	11.2	8.6	11.8	10.8	10.0	9.9
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	-----

1 - ②. 今後の実施状況予測（お寺を支える中心となっている人）

お寺を支える中心となっている人においても、今後コロナ禍が収束しなければ、4割のお盆実施に留まる。

- 例年、「毎年/節目」でお経をあげてもらっている人、すなわち、お寺を支える中心となっている人（左下図※1※2）は、「菩提寺のある人」の43.9（24.5+19.4）%。
- この43.9%の人のうち、今年の「お盆」にお経をあげてもらったのは54.6（50.2+4.4）%に留まる。
- 今後、コロナ禍が収束しない場合には「例年「毎年/節目」でお経をあげてもらっている人」でも44.9%の実施となり、今年の10%減と想定される。

「お盆」にお経をあげてもらっているか

例年（Q2）

- 毎年お経をあげてもらっていた（※1）
- 節目でお経をあげてもらっていた（※2）
- 以前はお経をあげてもらっていたが、ここ数年はない
- お坊さんにお経をあげてもらったことはない

菩提寺ある方（全体）	(3,649)	24.5	19.4	20.9	35.2
居住している場所と 同じ都道府県内にある	(2,784)	28.0	18.8	19.5	33.6
居住している場所と 違う都道府県内にある	(864)	13.0	21.2	25.3	40.4

今年（Q4）

- お経をあげてもらった
- これからお経をあげてもらう予定
- お経をあげてもらわなかった（今年は（今後も）あげてもらう予定はない）

菩提寺ある方（例年お経をあげている（※1、※2））	(1,601)	50.2	4.4	45.5
居住している場所と 同じ都道府県内にある	(1,305)	53.6	4.0	42.4
居住している場所と 違う都道府県内にある	(296)	35.1	5.9	59.0

今後（Q7）

- 新型コロナウイルスの収束の状況にかかわらず、お経をあげてもらう予定
- 新型コロナウイルスが収束したら、お経をあげてもらう予定（収束しなければ、お経あげてもらわない）
- 新型コロナウイルスの収束の状況にかかわらず、お経をあげてもらう予定はない
- わからない

菩提寺ある方（例年お経をあげている（※1、※2））	(1,601)	44.9	25.6	11.8	17.7
居住している場所と 同じ都道府県内にある	(1,305)	48.0	23.4	11.1	17.5
居住している場所と 違う都道府県内にある	(296)	31.1	35.4	14.7	18.8

1 - ③. お盆の布施の支払状況（例年、今年、これから）

「お盆」にお経をあげてもらった人は、コロナ前後を問わず8割半ばがお布施を支払っている。今後の支払予定も8割半ば。

- 「お盆」にお布施を支払った割合は、例年、今年、今後ともに84%と、割合に大きな変化はみられなかった。
- お布施の平均金額は例年で約1.4万円、今年で約1.3万円、今後で約1.6万円と金額の差も小さい。
- 「菩提寺のある人」は「菩提寺のない人」よりもお布施を支払っている割合が高い。
- また、例年、今年、今後ともに年代が上がるほど「お布施を支払っている/支払う予定」がある人が多くなっているが、平均金額は対照的に年代が低いほど高い傾向。

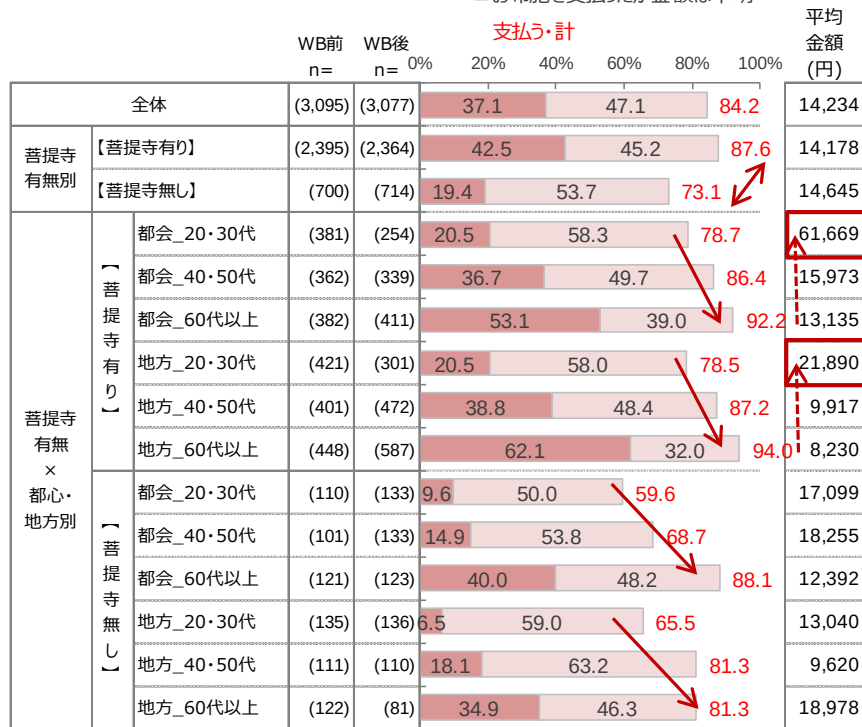
「お盆」でのお布施額

例年（Q3）

※例年お経をあげてもらった人ベース

- お布施を支払った
- お布施を支払ったが金額は不明

支払う・計



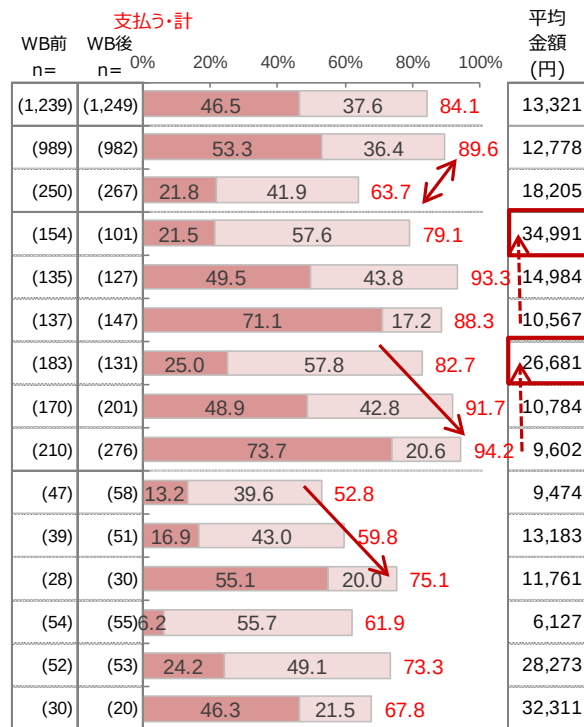
※平均金額は支払った人ベース
(サンプル数は詳細グラフを参照)

今年（Q6）

※今年お経をあげてもらった人ベース

- お布施を支払った／支払うつもり
- お布施を支払ったが金額は不明／支払うか決めていない

支払う・計

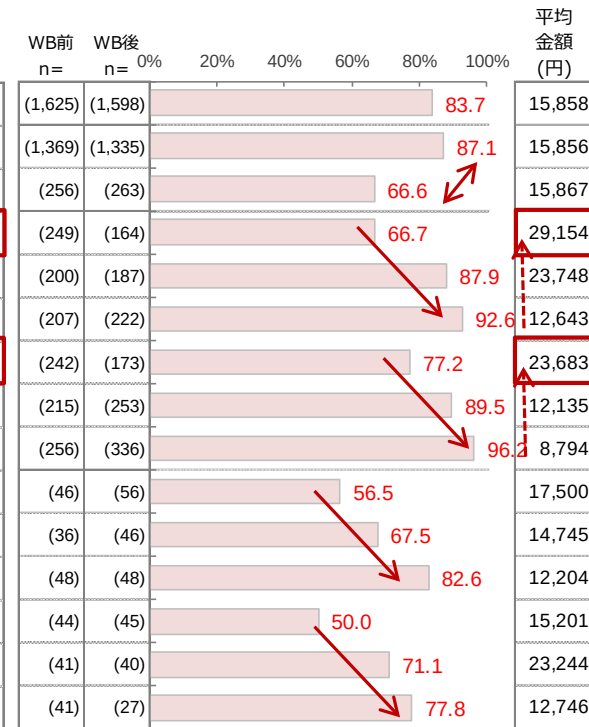


※平均金額は支払った人ベース
(サンプル数は詳細グラフを参照)

今後（Q9）

※お経をあげてもらった意向の人ベース

- お布施を支払う予定



※平均金額は支払う予定の人ベース
(サンプル数は詳細グラフを参照)

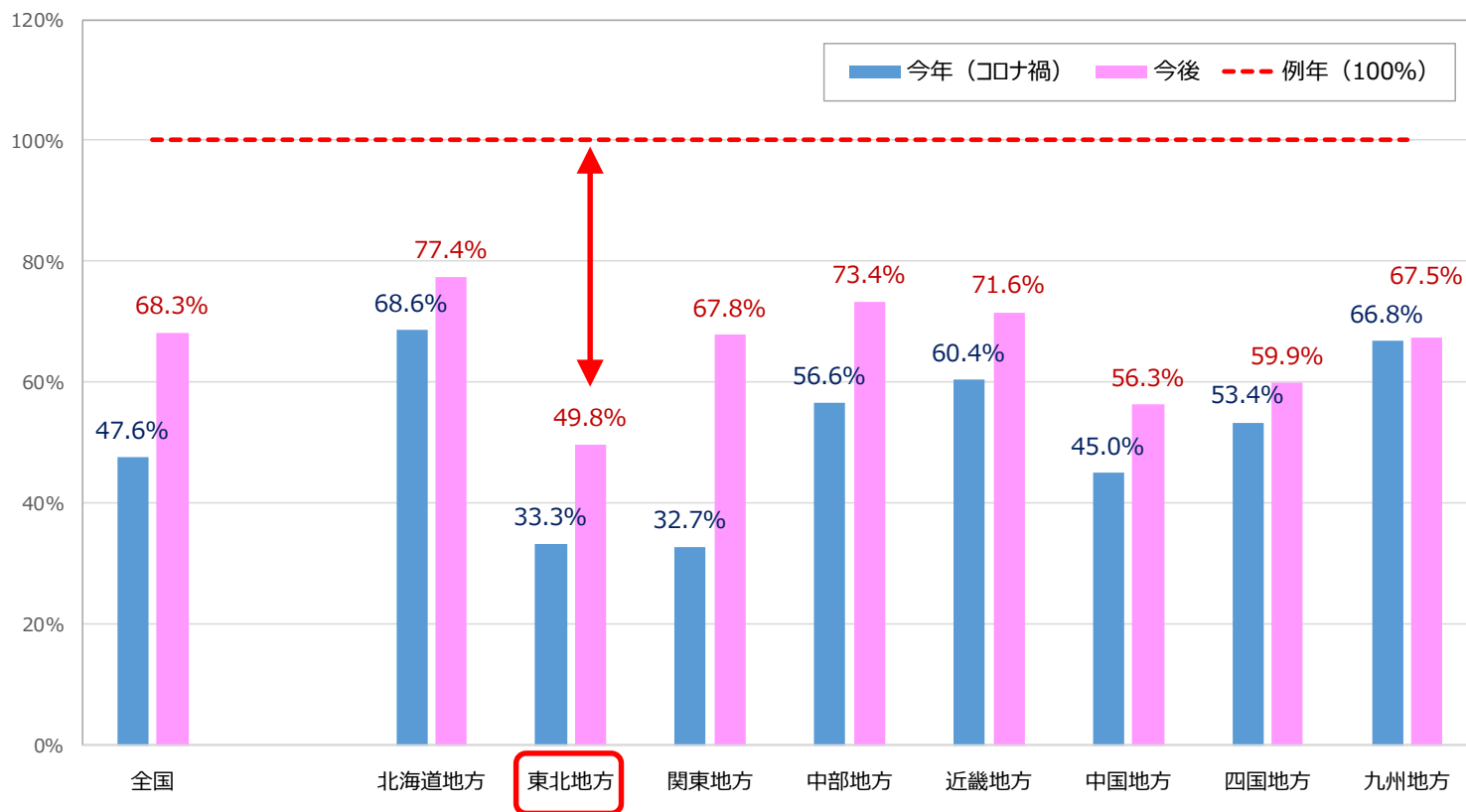
1 - ④. お盆の布施金額 地域間格差と今後の予測

一定条件の下、今後のお盆のお布施金額を予測すると、例年の7割弱の水準までの戻りにとどまる。特に東北地方の戻りは低調。

- 例年、「毎年/節目」お布施を支払っている人に限定して、この人たちの例年の布施金額総額を基準（100%）として、今年（コロナ禍）と今後の布施金額総額を算出。
- コロナ禍における布施金額総額は47.6%に落ち込み、今後は68.3%の戻りと推計される。
- 地域間格差が大きく表れ、コロナ禍による布施金額総額の下落は関東地方、東北地方が大きく、今後の戻りが低調なのは東北地方。

お盆の布施金額推計 地域別 （Q3 & Q6 & Q9）

※毎年、節目でお布施を支払っている方を対象

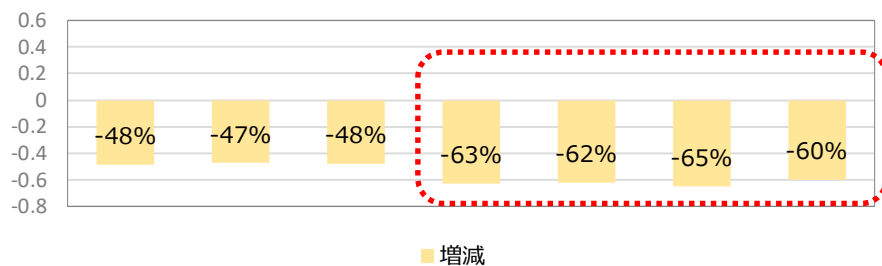
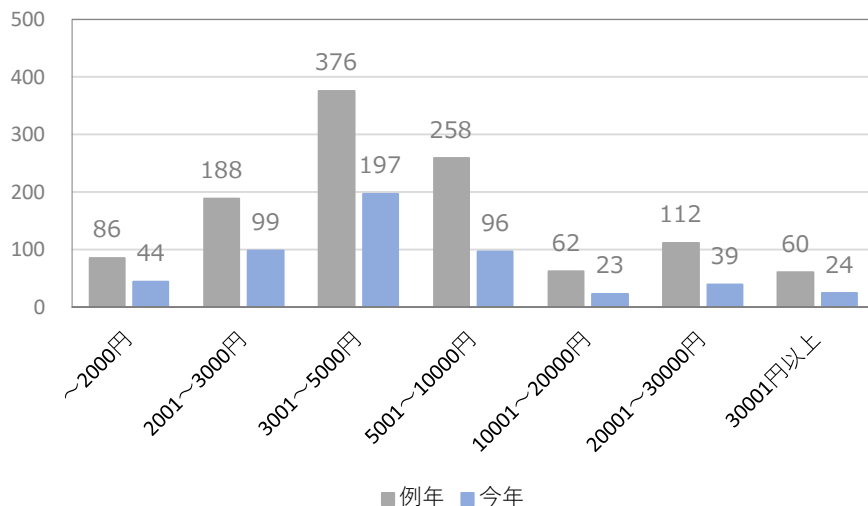


1 - ⑤. お盆の布施金額帯別の件数から読み取れること

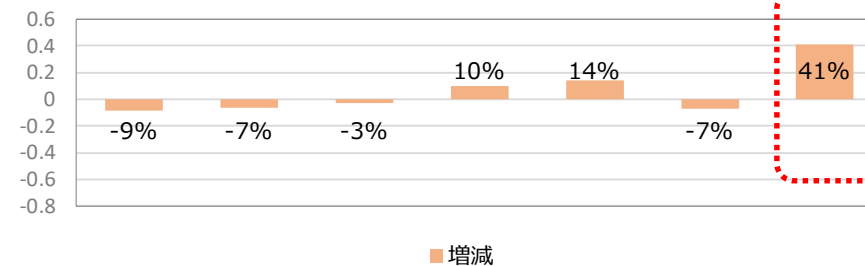
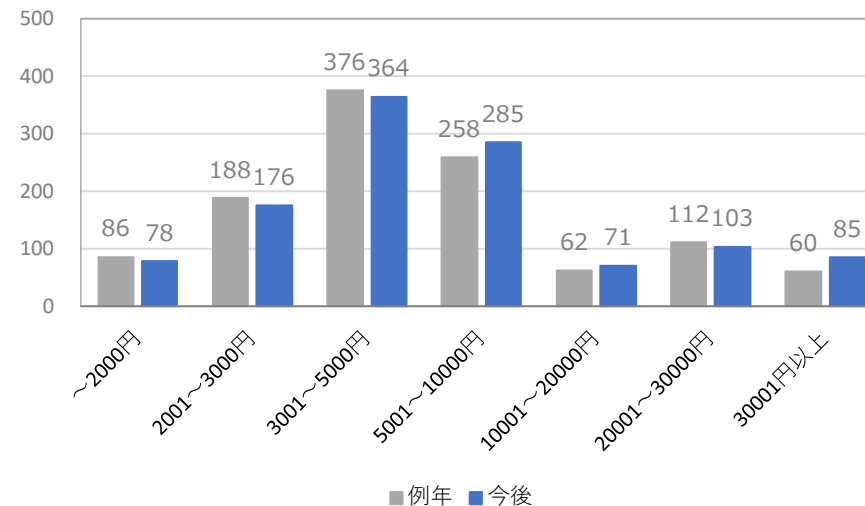
今年（コロナ禍）において、金額帯を見ると、高い金額帯の落ち込み比率が大きい。一方で、今後は高い金額帯に戻る可能性が高い。

- 今年（コロナ禍）は全般的にお布施金額、件数とも下落している中で、5千円以上の金額帯が、件数では一律6割を超える減少。
- 意識調査にはなるが、今後お布施をどれだけ支払うのか金額帯件数で見ると、例年と同様の水準まで戻る可能性もあると考えられる。
- ただし、コロナ禍収束が条件となる意向を持った人がいることや、支払ってもよい金額と実際に支払う金額のギャップは当然生じるため、現状のままでは厳しい状況が予測される。

お盆の布施金額帯別件数（例年と今年）（Q3 & Q6）



お盆の布施金額帯別件数（例年と今後）（Q3 & Q9）



2. お彼岸法要について

2-①. お彼岸の実施状況（例年、今年、これから）

「お彼岸」も「お盆」同様、コロナ前後でお経をあげてもらった割合が低下。

- 例年、「毎年/節目」で「お彼岸」にお経をあげてもらっている人は21.1（6.3+2.5+12.3）%。また、「以前」はお経をあげてもらった人まで含めると30.4%。
- 今年（コロナ禍）は予定も含めて12.9%が実施と「お彼岸」は「お盆」よりも低めの実施状況。なお、今後の意向は26.5%となり、「お盆」と同水準。
- 例年、今年ともに「菩提寺のある」人の方が「ない」人よりも「お彼岸」にお経をあげてもらっており、今後の意向も3割を超える。
- 菩提寺がある人のうち、今年お経をあげてもらった人は都会、地方ともに20・30代が高く、この年代では今後の意向も高い。

「お彼岸」にお経をあげてもらっているか

※全体ベース

WB前n=30以上の場合

[比率の差]



- 毎年、春も秋もお経をあげてもらっていた
- 毎年、春か秋、どちらかでお経をあげてもらっていた
- 節目でお経をあげてもらっていた（年忌など）
- 以前お経をあげてもらっていたが、ここ数年はない
- お経をあげてもらったことはない

		WB前	WB後	割合 (%)				あげ もらう計	
		n =	n =						
全体		(6,192)	(6,192)	6.3	2.5	12.3	9.4	30.4	
菩提寺 有無別	【菩提寺有り】	(3,720)	(3,649)	9.6	3.4	16.1	10.5	39.6	
	【菩提寺無し】	(2,472)	(2,543)	6.8	7.7			17.3	
菩提寺 有無 × 地方 × 年代別	【菩提寺有り】	都会_20・30代	(620)	(411)	8.4	8.3	16.2	8.9	41.7
		都会_40・50代	(620)	(580)	8.3	3.5	14.4	9.9	36.0
		都会_60代以上	(620)	(673)	10.5	2.1	17.3	11.9	40.9
		地方_20・30代	(620)	(443)	10.1	6.3	17.8	10.6	44.7
		地方_40・50代	(620)	(730)	7.0	2.7	15.3	9.0	34.0
		地方_60代以上	(620)	(812)	12.3	1.8	16.1	11.9	42.2
	【菩提寺無し】	都会_20・30代	(412)	(501)	7.5	7.3			17.6
		都会_40・50代	(412)	(539)	7.3	6.3			16.1
		都会_60代以上	(412)	(412)	5.1	11.0	1.1		19.2
		地方_20・30代	(412)	(417)	9.3	6.9			19.2
		地方_40・50代	(412)	(403)	5.4	7.1			14.5
		地方_60代以上	(412)	(273)	5.6	9.8			17.1

※3%未満のラベルは非表示

※あげもらう計（「毎年、春も秋もお経をあげてもらっていた」
～「以前お経をあげてもらっていたが、ここ数年はない」）

今年（Q12）

- お寺に伺ってお経をあげてもらった
- お寺以外でお経をあげてもらった
- 春はあげていないが、秋のお彼岸にはお経をあげてもらう予定
- お経をあげてもらわなかった（秋にあげてもらう予定もない）
- 無回答

						(%)	もう1計
4.6	4.8	3.5	17.5	69.6		12.9	
6.7	7.4	6	21.6	60.4		18.0	
11.6				82.7		5.7	
7.4	9.4	5.5	19.4	58.3		22.3	
5.4	8	4.5	21.0	64.0		15.0	
7.0	6.2	3.9	23.7	59.1		17.2	
9.5	8.7	5.4	21.2	55.3		23.5	
4.6	7	3.4	19.1	66.0		14.9	
7.0	6.5	2	23.9	57.8		18.2	
3.3	3.7	7.7		82.4		9.9	
11.6				83.9		4.5	
15.4				80.8		3.8	
12.1				80.8		7.0	
9.7				85.5		4.8	
14.8				82.9		2.3	

※あげもらう計（「お寺以外でお経をあげてもらった」
～「春はあげていないが、秋のお彼岸にはお経をあげてもらう予定」）

今後（Q15）

- コロナの収束にかかわらず、お経をあげてもらう予定
- コロナが収束したら、お経をあげてもらう予定
- コロナ収束の状況にかかわらず、お経をあげてもらう予定はない
- わからない

12.4	14.1	8.7	64.7	26.5
16.0	15.1	10.2	58.8	31.1
7.4	12.7	6.7	73.2	20.1
16.9	21.1	7.1	54.9	38.0
16.3	16.3	9.3	58.1	32.6
16.2	14.6	12.3	56.9	30.8
16.8	17.4	7.9	57.9	34.2
14.3	12.9	9.8	63.1	27.1
16.1	12.4	12.2	59.3	28.5
9.5	14.6	4.2	71.7	24.1
5.4	13.9	5.5	75.2	19.3
9.1	10.8	11.9	68.2	19.9
7.3	12.6	4.7	75.5	19.8
6.5	12.3	6.3	74.9	18.8
6.6	10.2	9.1	74.1	16.8

※意向有り計（「コロナが収束したら、お経をあげてもらう予定」
+「コロナ収束の状況にかかわらず、お経をあげてもらう予定」）

2-②. 今後の実施状況予測（お寺を支える中心となっている人）

お寺を支える中心となっている人でも、コロナが収束しなければ、お彼岸の実施率は4割弱とどまる。

- 例年、「毎年/節目」でお経をあげてもらっている」お寺を支える中心となっている人（左下図※1※2）は、菩提寺のある人全体の29.1（9.6+3.4+16.1）%。
- この29.1%の人で今年のお彼岸にお経をあげてもらったのは全体42.6%。
- この29.1%の人でも、今後は18.4%が「お経をあげてもらう予定はない」、19.1%が「わからない」と回答しており、「お盆」よりも厳しい状況。

「お彼岸」にお経をあげてもらっているか

例年（Q11）

- 毎年、春も秋もお経をあげてもらっていた（※1）
- 毎年、春か秋、どちらかでお経をあげてもらっていた（※2）
- 節目でお経をあげてもらっていた（年忌など）（※3）
- 以前お経をあげてもらっていたが、ここ数年はない
- お経をあげてもらったことはない

菩提寺ある方（全体）	(3,649)	9.6	3.4	16.1	10.5	60.4
居住している場所と 同じ都道府県内にある	(2,784)	10.7	3.2	16.2	9.7	60.2
居住している場所と 違う都道府県にある	(864)	6.0	4.1	15.7	13.2	61.0

今年（Q14）

- お寺以外でお経をあげてもらった
- お寺に伺ってお経をあげてもらった
- 春はあげてもらっていないが、秋のお彼岸にはお経をあげてもらう予定（いつも秋のみ）
- お経をあげてもらわなかった（秋にあげてもらう予定もない）

菩提寺ある方（例年お経をあげている（※1、※2、※3））	(1,061)	21.9	20.7	12.1	45.3
居住している場所と 同じ都道府県内にある	(838)	23.6	20.5	12.9	42.9
居住している場所と 違う都道府県にある	(223)	15.4	21.3	9.3	54.0

今後（Q17）

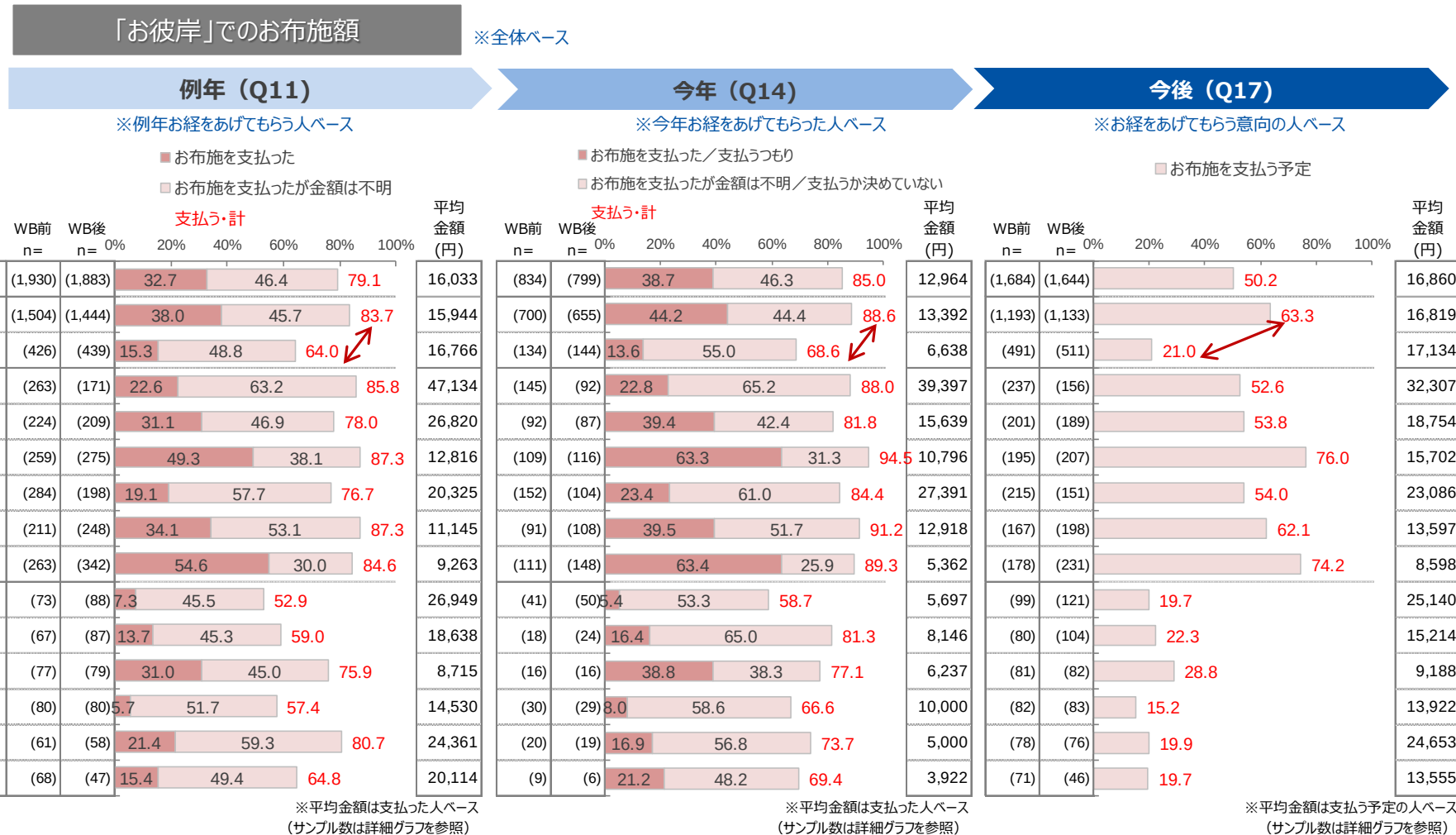
- 新型コロナウイルスの収束の状況にかかわらず、お経をあげてもらう予定
- 新型コロナウイルスが収束したら、お経をあげてもらう予定（収束しなければ、お経あげてもらわない）
- 新型コロナウイルスの収束の状況にかかわらず、お経をあげてもらう予定はない
- わからない

菩提寺ある方（例年お経をあげている（※1、※2、※3））	(1,061)	37.2	25.2	18.4	19.1
居住している場所と 同じ都道府県内にある	(838)	39.5	22.8	18.7	19.0
居住している場所と 違う都道府県にある	(223)	28.7	34.2	17.4	19.6

2-③. お彼岸の布施の支払状況（例年、今年、これから）

「お彼岸」でのお布施の支払い率は、例年よりも今年でわずかに高いが、平均金額は今年の方が低い。

- 「お彼岸」でお布施を支払った割合は、例年は79.1%、今年は85.0%と今年の方がわずかに高くなっている。今後の支払予定は50.2%と低め。
- 平均金額は例年で約1.6万円、今年で約1.3万円、今後で約1.7万円とほぼ同水準。
- 「菩提寺のある人」は「菩提寺のない人」よりもお布施を支払っている割合が高い。特に、「今後の予定あり」の割合で差が大きくなっている。
- また、例年、今年、今後ともに年代が上がるほど「お布施を支払っている/支払う予定がある」人が多くなっているが、平均金額は対照的に年代が低いほど高く、「お盆」と同傾向。



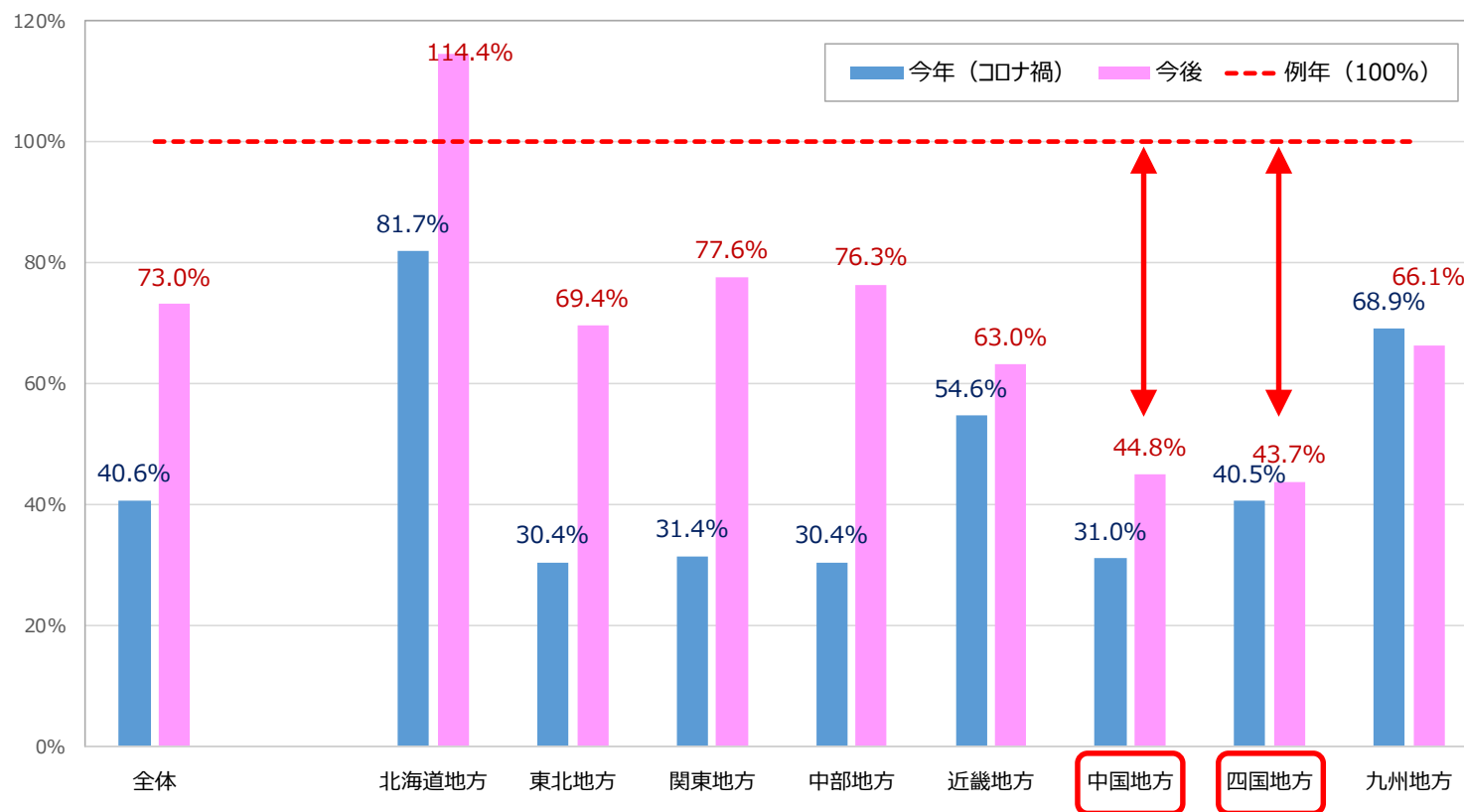
2－④．お彼岸の布施金額 地域間格差と今後の予測

一定条件の下、今後の彼岸のお布施金額を予測すると、例年の7割強の水準までの戻りに留まる。特に中国、四国地方の戻りは厳しい。

- 例年、「毎年/節目」お布施を支払っている人に限定して、この人たちの例年の布施金額総額を基準（100%）として、今年（コロナ禍）と今後の布施金額総額を算出。
- コロナ禍での布施金額総額は40.6%に落ち込み、今後は73.0%の戻りと推計される。
- 地域間格差が大きく表れ、コロナ禍の布施金額総額の下落は東北、関東、中部、中国地方が大きく、今後の戻りが低調なのは中国、四国地方。

お彼岸の布施金額推計 地域別 （Q11 & Q14 & Q17）

※毎年、節目でお布施を支払っている人を対象

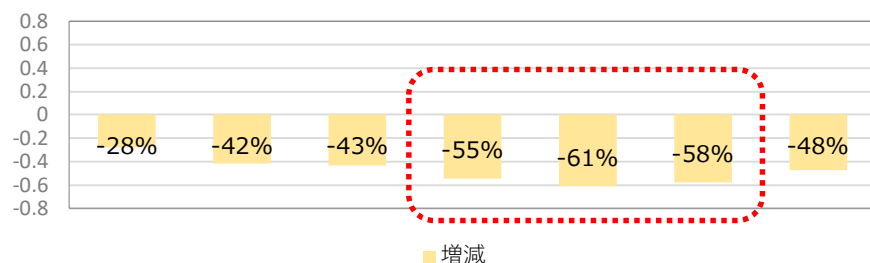
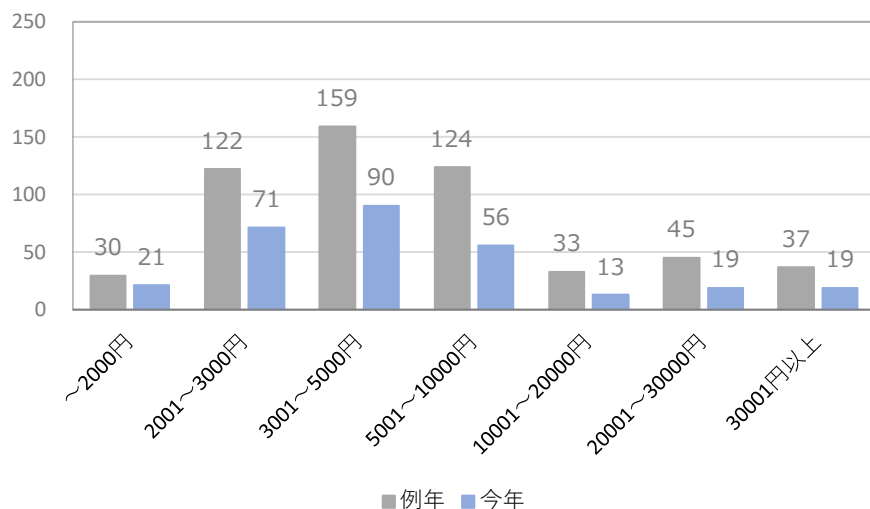


2－⑤．お彼岸の布施金額別の件数から読み取れること

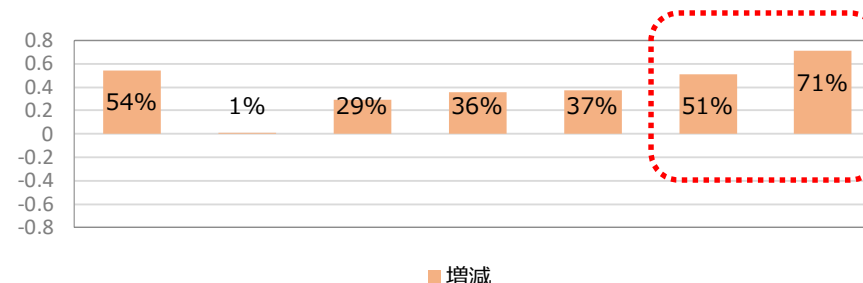
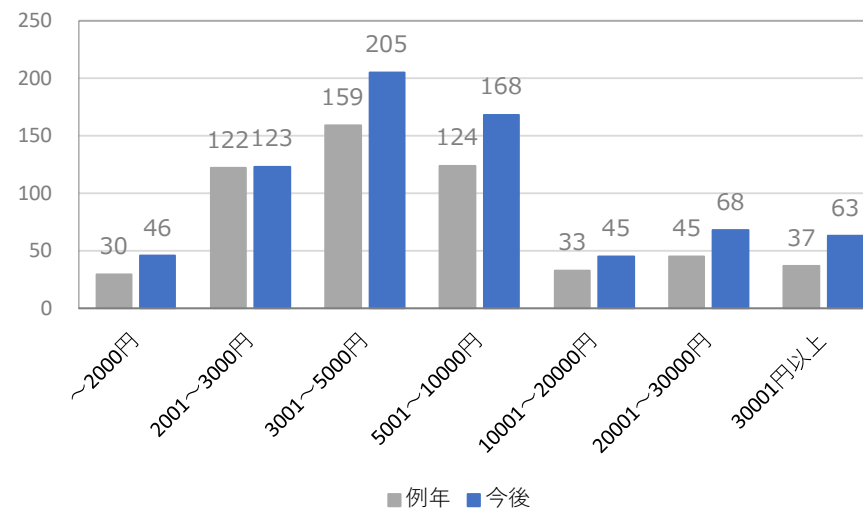
今年（コロナ禍）において、金額帯を見ると、中間の金額帯の落ち込みが大きい。今後は高い金額帯に戻る可能性が高い。

- お布施に金額帯件数でみても、今年（コロナ禍）は全般的にお布施金額が下落していることがわかる。
- 意識調査にはなるが、今後お布施をどれだけ支払うのか金額帯件数で見ると、例年と同様の水準を超えて戻る可能性もあると考えられる。
- ただし、コロナ禍収束が条件となる意向を持った人がいることや、支払ってもよい金額と実際に支払う金額のギャップは当然生じるため、現状のままでは厳しい状況が予測される。

お彼岸の布施金額帯別件数（例年と今年）（Q11＆Q14）



お彼岸の布施金額帯別件数（例年と今後）（Q11＆Q17）



3. 新型コロナウイルス感染症の影響把握

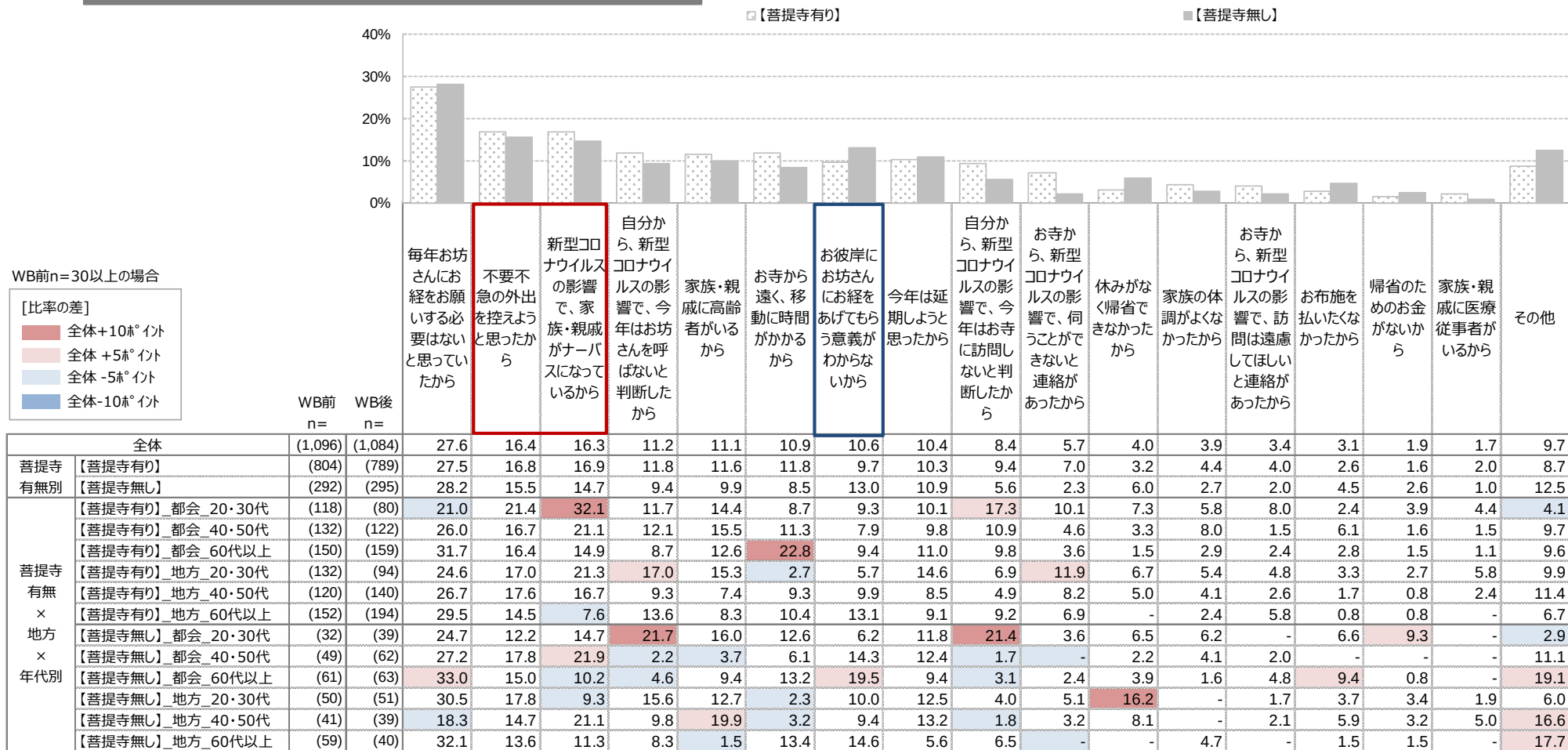
3-①. お彼岸の影響把握（今年の「お彼岸」非実施理由より）

「不要不急の外出を控える」「コロナで家族・親族がナーバスになっている」が上位。コロナでお経をあげてもらわなかった人も多い。

- 「お盆」とともに「毎年お坊さんにお経をお願いする必要はないと思っていたから」がトップであるが、「お経をあげている意義がわからない」はお盆より低い。
- 「お彼岸」にお経をあげてもらっていない人は「お盆」よりも少ない。
- 上位理由には「不要不急の外出を控えようと思った」「家族・親戚がナーバスになっている」もあがっていることから、コロナの影響の大きさが窺える。

今年の「お彼岸」にお経をあげてもらわなかった理由（Q13）

※今年の「お彼岸」にお経をあげてもらっていない人ベース



※「全体」スコアを降順ソート

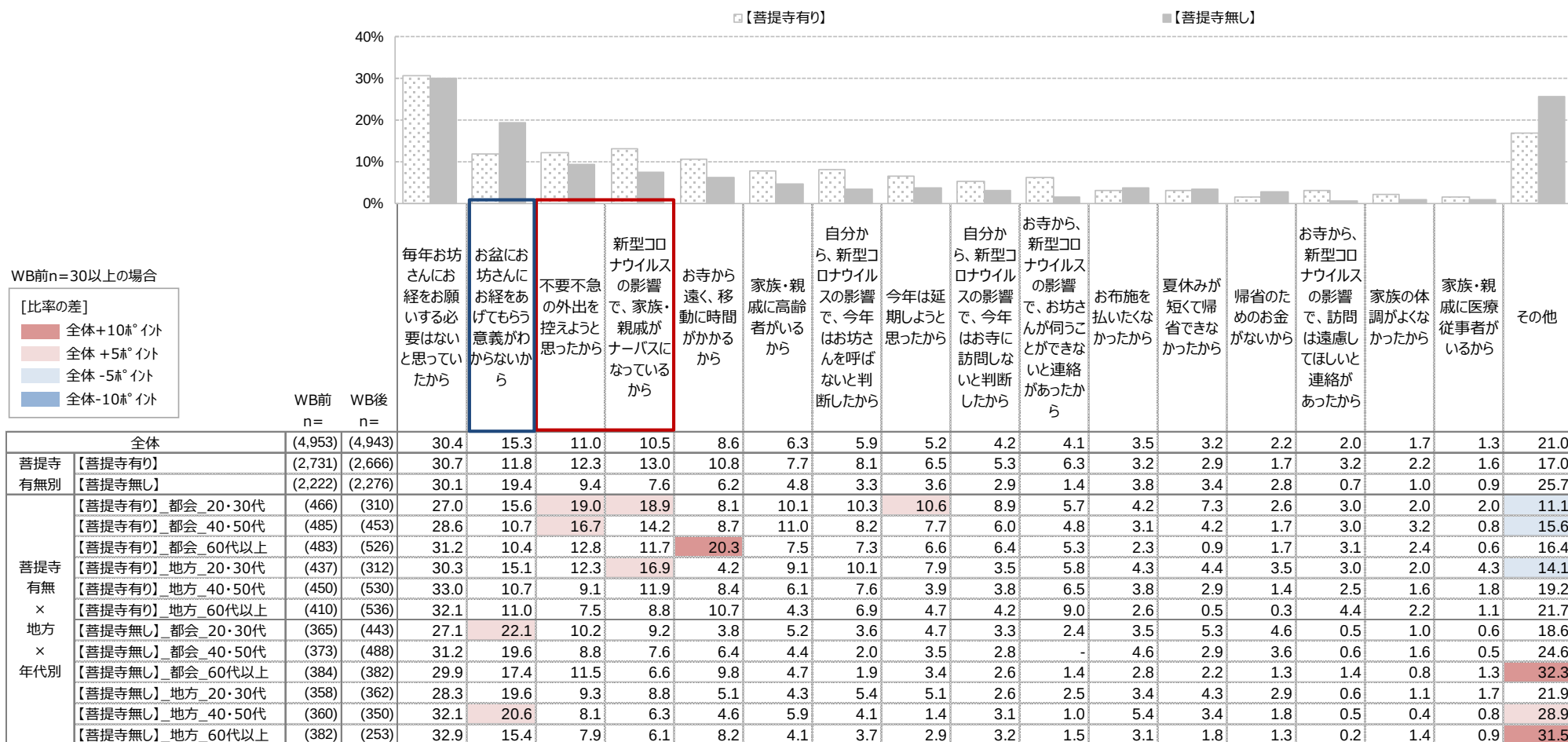
3 - ②. お盆の影響把握（今年の「お盆」非実施理由より）

「不要不急の外出を控える」「コロナで家族・親族がナーバスになっている」が上位。今年はやめる、延期などの理由はお彼岸の半分の比率。

- 上位理由には「不要不急の外出を控えようと思った」「コロナの影響で、家族・親戚がナーバスになっている」もあり、コロナの影響の大きさが窺える。調査時期の関係もあるが、「お彼岸」より「お盆」のほうが比率が低い。
- 特にコロナの影響がみられるのは、お彼岸と同様に都会の20・30代。

今年の「お盆」にお経をあげてもらわなかった理由（Q5）

※今年の「お盆」にお経をあげてもらっていない人ベース



※「全体」スコアで降順ソート

3-③. 寺院との関係性からみる影響把握

「菩提寺のある」人では3割、「ない」で2割がコロナでイベント中止。収束後、1年以内の参加意向は「ある」で8割、「ない」でも6割を占める。

- コロナによって中止になったイベントは、「菩提寺あり」で32%で、「菩提寺への参拝」「家族・親族の年忌法要」「家系のお墓への墓参り」が上位。
- 中止時に対して「寂しい」など“ポジティブ”な反応は約7割。特に「残念だが今後は開催されることを期待したい」が4割と大きい。
- コロナ収束後の1年以内のイベント参加意向は、「菩提寺のある」人で8割、「ない」人で6割。「(家系の)墓参り」「初詣」などが上位となる。
- コロナ収束後にイベントに参加したい理由として、菩提寺の有無にかかわらず「先祖を大事にしたい」や「毎回/季節の行事」等定着・定番の内容が上位。

中止になった寺院イベント (Q24)

※全体ベース

■ 菩提寺有り(WB前n=3,720、WB後n=3,649)
■ 菩提寺なし(WB前n=2,472、WB後n=2,543)

中止時の気持ち (Q25)

※中止イベントありベース

■ 菩提寺有り(WB前n=1,221、WB後n=1,171)
■ 菩提寺なし(WB前n=440、WB後n=463)

コロナ収束後、1年以内に参加したいイベント (Q27)

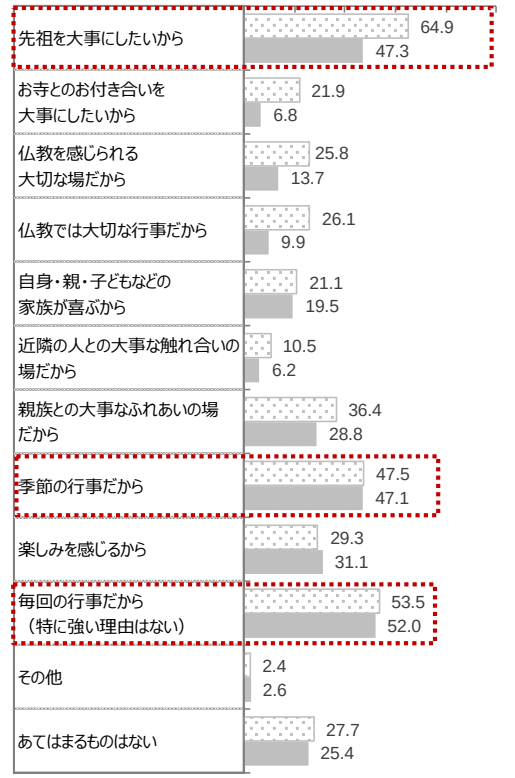
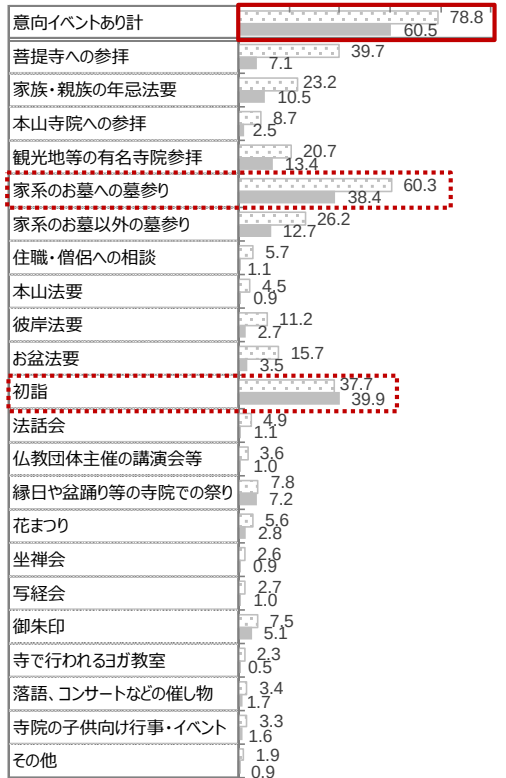
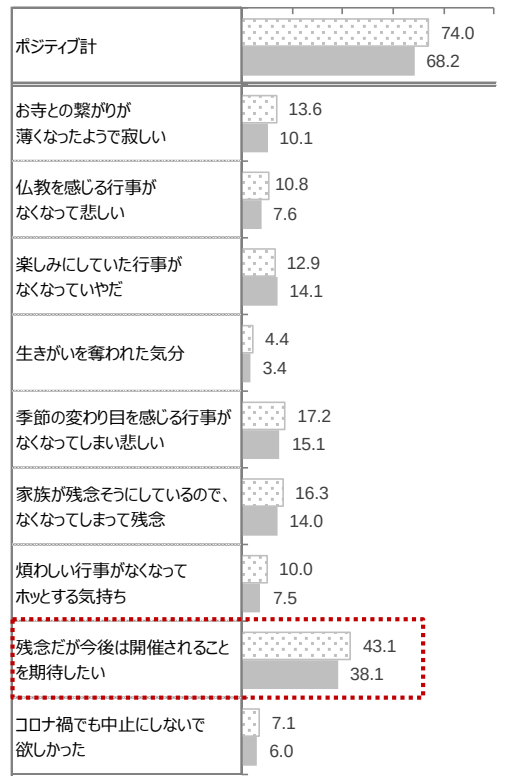
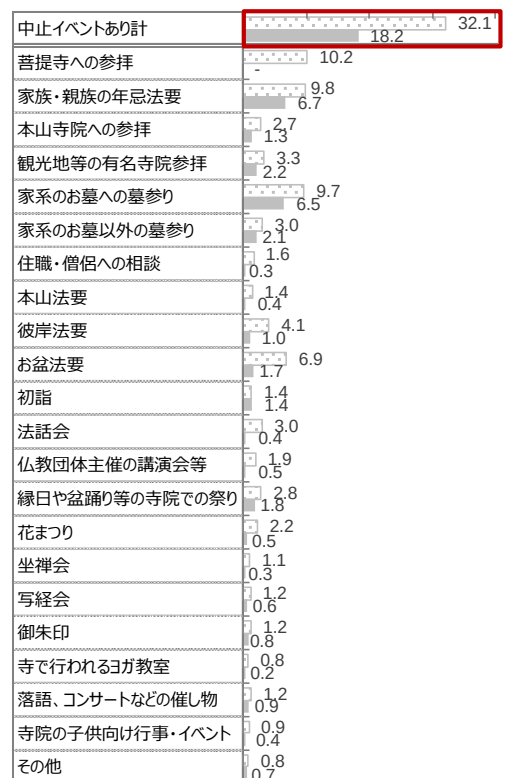
※全体ベース

■ 菩提寺有り(WB前n=3,720、WB後n=3,649)
■ 菩提寺なし(WB前n=2,472、WB後n=2,543)

コロナ収束後、イベントに参加したい理由 (Q28)

※1年以内に参加したいイベントありベース

■ 菩提寺有り(WB前n=2,918、WB後n=2,874)
■ 菩提寺なし(WB前n=1,492、WB後n=1,540)



4. 菩提寺との関わり

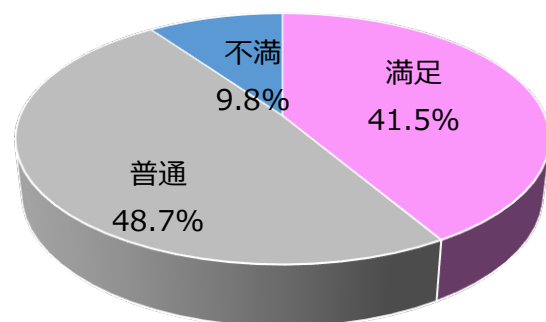
4－①．菩提寺の満足度と今後の付き合い方

菩提寺への総合満足度は42%。菩提寺への満足度が高い人ほど、菩提寺のコロナ禍におけるアクションを知覚・好意的な反応を示す。

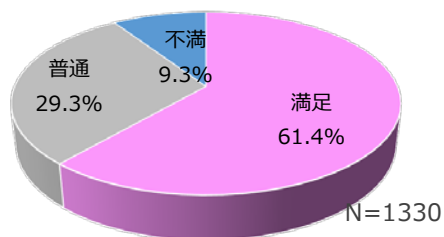
- 菩提寺に「満足している」は41.5%。「普通（どちらともいえない）」が48.7%と半数を占め、「不満である」は1割を下回る低水準。
- コロナ禍において、菩提寺から連絡があった人ほど満足度が高い。また、菩提寺から連絡の有無で、不満を持っている人の比率の格差はない。
- 菩提寺への満足度が低いほど、「菩提寺との付き合いを減らしていく」、「付き合いをやめたい」という割合が高まる。

菩提寺への満足度（Q18）

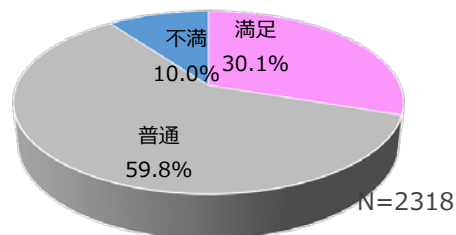
※菩提寺がある人ベース



お寺から
連絡有り



お寺から
連絡無し



菩提寺と今後の付き合い方（Q23）

※菩提寺がある人ベース

- 今まで以上に菩提寺との付き合いを増やそう
- 今までと変わらず菩提寺と付き合いそう
- 今までより菩提寺との付き合いを減らしていくと思う
- 菩提寺との付き合いをやめたいと思う

		n=	（%）			
全体		(3,649)	2.2	65.2	20.5	12.0
菩提寺への満足度別	満足層	(1,515)	4.8	85.1	8.5	1.6
	中庸	(1,777)	0.4	56.2	27.5	15.9
	不満層	(357)	0.2	25.5	37.2	37.1

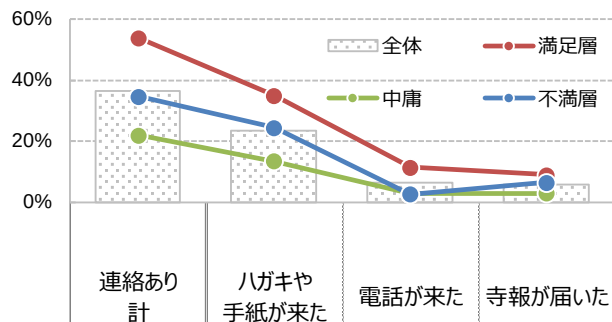
4 - ②. コロナ禍における菩提寺との接点と満足度

コロナ禍で菩提寺から連絡を受けた人は全体では36%。菩提寺への満足度が高い人ほど、連絡を受けており、連絡に対して好反応。

- 菩提寺に満足している層では、お寺からの連絡を好意をもって受け止めている。コロナ禍での法要も心配している様子が窺える。
- 菩提寺に不満を持っている層が、中庸な層よりも「菩提寺からの連絡あり」比率が高い。良いも悪いも菩提寺を意識していることが想定される。
- 菩提寺に中庸な方へのアプローチが絶対的に不足していると想定される。この状況では菩提寺に不満をもち、離れていくことが容易に想定される。

コロナ以降、菩提寺からの連絡経路 (Q20)

※菩提寺がある人ベース

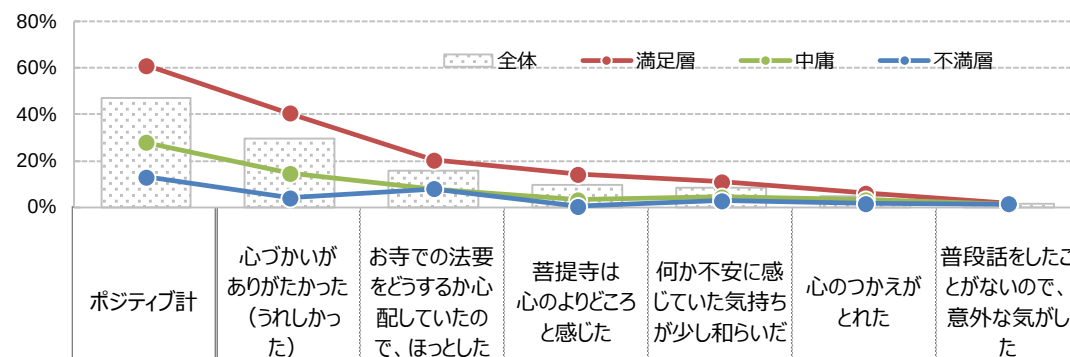


n=		連絡あり計	ハガキや手紙が来た	電話が来た	寺報が届いた
全体 (3,649)		36.5	23.4	6.3	5.8
菩提寺への満足度別	満足層 (1,515)	53.9	35.0	11.4	9.0
	中庸 (1,777)	21.9	13.4	2.8	2.9
	不満層 (357)	34.7	24.5	2.6	6.5

※「全体」スコアで降順ソート、全体5%以上の項目を掲載

コロナ以降、菩提寺からの連絡に対するポジティブ印象 (Q21)

※菩提寺から連絡があった人ベース



n=		ポジティブ計	心づかいがありがたかった (うれしかった)	お寺での法要をどうするか心配していたので、ほっとした	菩提寺は心のよりどころと感じた	何か不安に感じていた気持ちが少し和らいだ	心のつかえがとれた	普段話をしたことがないので、意外な気がした
(1,330)		46.9	29.5	15.5	9.7	8.2	4.8	1.5
(817)	満足層	61.2	40.5	20.4	14.2	10.8	6.0	1.7
	中庸	27.9	14.7	7.7	3.2	4.4	3.2	1.1
	不満層	13.0	4.0	7.9	0.5	2.7	1.6	1.3

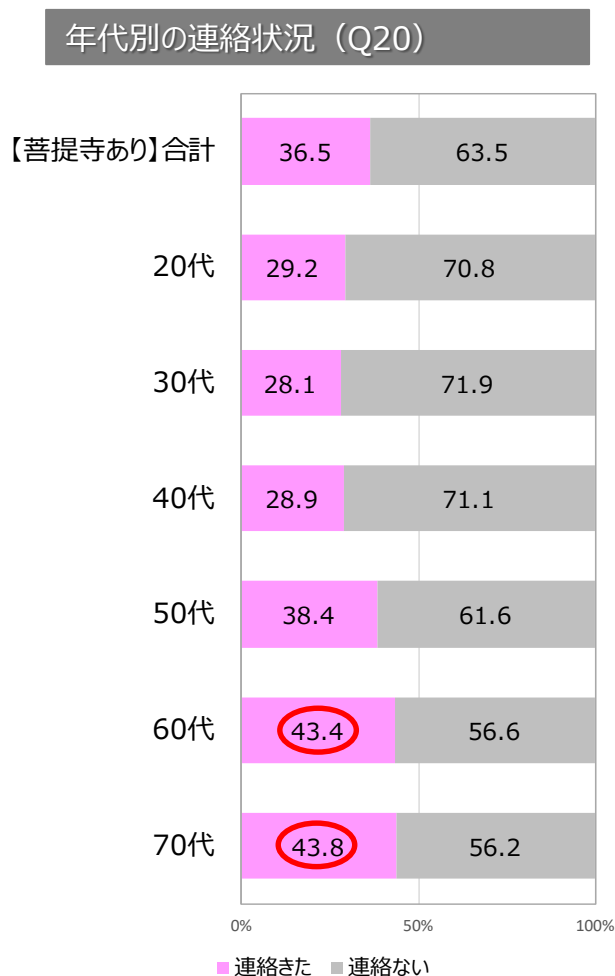
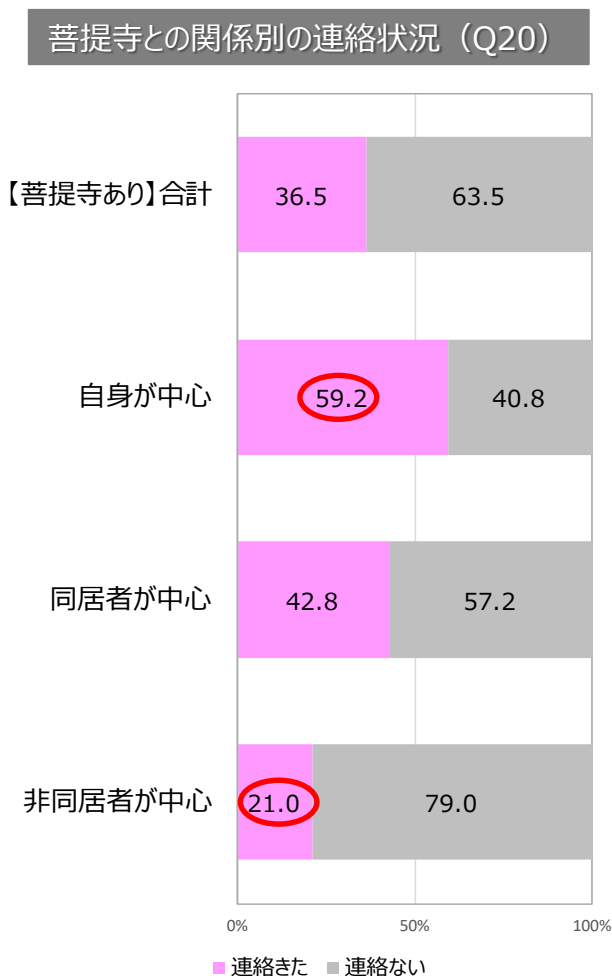
※「全体」スコアで降順ソート

4－③．コロナ禍における菩提寺からの連絡状況

お寺と中心となっかかっている人への連絡は59.2%と高いが、全体では菩提寺からの連絡がなかったと回答する人が63.5%。

- お寺との関係で「非同居者が中心となっている人（おそらく息子、娘、孫）」に対しての連絡は21%とかなり低い。
- このような緊急事態には、「非同居者が中心となっている人」への連絡をとることも望ましい。
- 逆に連絡していない場合、不安で困っているのに、なぜ菩提寺は連絡をくれないのかと不満をもたれることが想定される。

※菩提寺がある人ベース



4－④． 菩提寺からの連絡に対する反応（好反応）

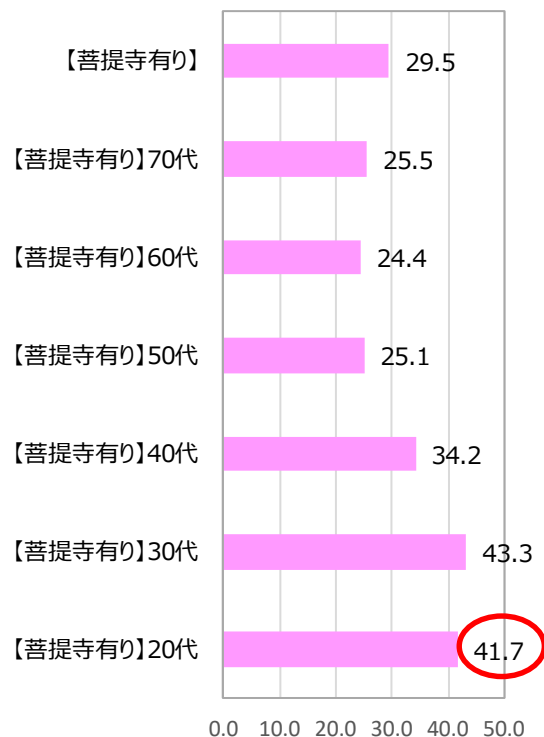
菩提寺からの連絡に対し、20代、30代など若い層が好反応を示す比率が高く出ている。

- 菩提寺からの連絡に対して20代では「心づかいがありがたかった」が41.7%、「ほっとした」が28.1%など高い数値が出ている。
- 年代が若いほど菩提寺からの連絡に対して好反応であり、経年により好反応は低下する傾向。

※菩提寺から連絡があった人ベース

ありがたかった

心づかいがありがたかった
(うれしかった)



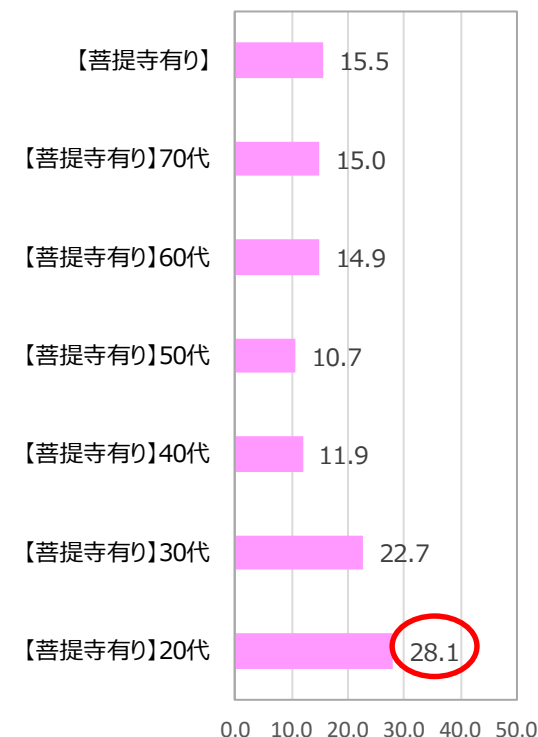
心のよりどころ

菩提寺は心のよりどころと感じた



ほっとした

お寺での法要をどうするか心配していたので、ほっとした



4－⑤．菩提寺からの連絡に対する反応

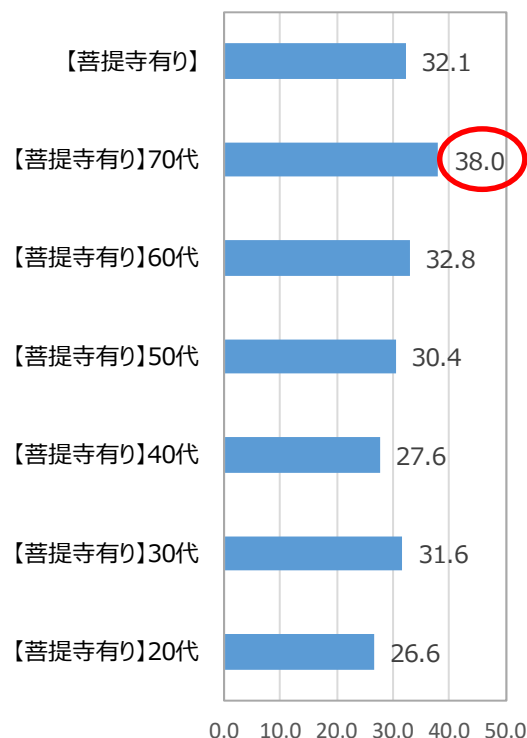
菩提寺からの連絡に対し好反応もある一方で、「事務的/特に何も感じない」など、せっかくの縁を菩提寺が活かしていない傾向も窺える。

- 事務的に感じた比率は20代から60代までは30%から3%乖離にとどまり、大きな差は見られない。70代は38%と若干高い傾向が窺える。
- 「普段話したことがないので意外な気がした」など、決して悪い反応ではない比率も20代で高い。

※菩提寺から連絡があった人ベース

事務的

事務的な連絡だったので何も感じない



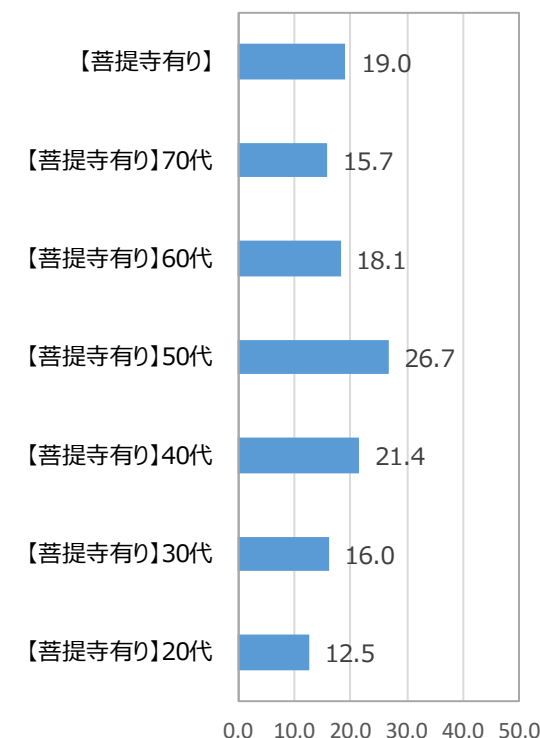
意外な気がした

普段話をしたことがなかったので意外な気がした



特に何も

とくに何も感じなかった



4-⑥. 菩提寺のコロナ対策認識状況

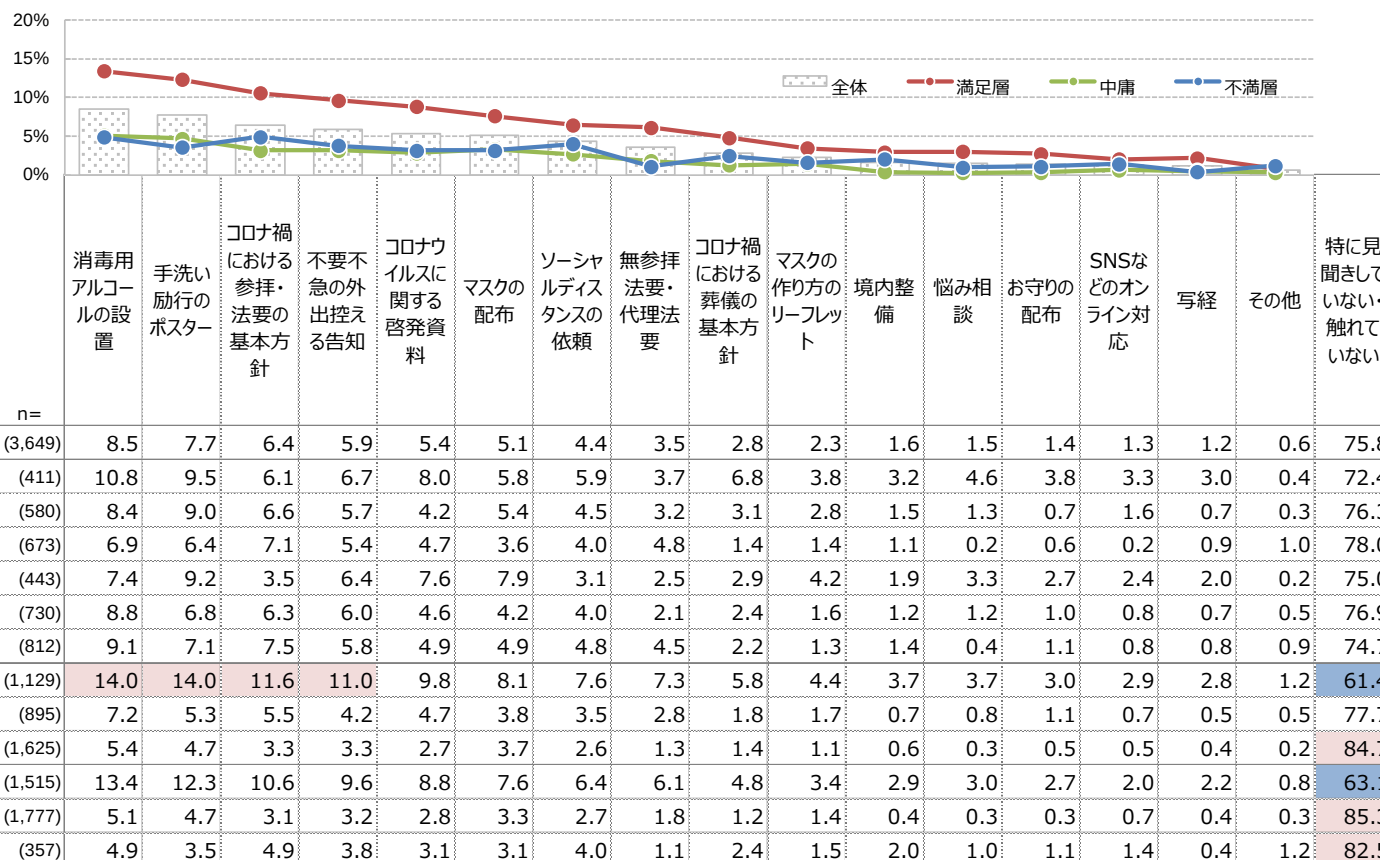
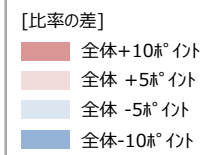
コロナ対策として様々な対応を行っている寺院は多いと思われるが、菩提寺ですらその活動を認識されていない現状。

- 菩提寺のコロナ対策についての設問では、仏教への関心が高い層および、菩提寺に満足している層でも3割程度の認識に留まる。
- 今後、葬儀、法要を継続していくためにも、寺院でのコロナ対策は少なくとも檀家・門徒に周知する必要があると考えらる。

菩提寺のコロナ対策に関する認識状況 (Q22)

※菩提寺がある人ベース

WB前n=30以上の場合



※「全体」スコアで降順ソート

5. 直葬について

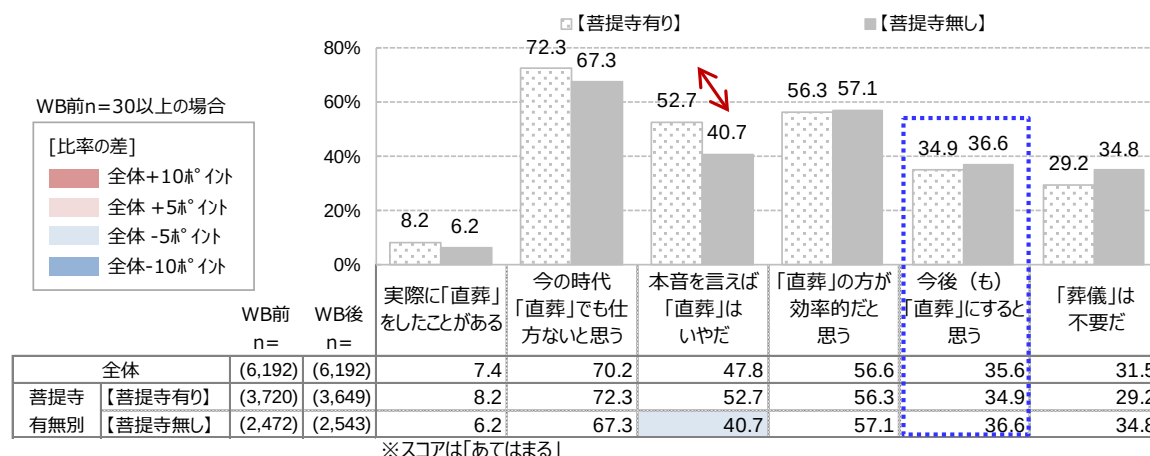
5 - ①. 直葬への印象と今後の葬儀意向

菩提寺が有る人は「直葬」には否定的。「味気ない」「しっかりお葬式は出してあげたい」という意識も強い。

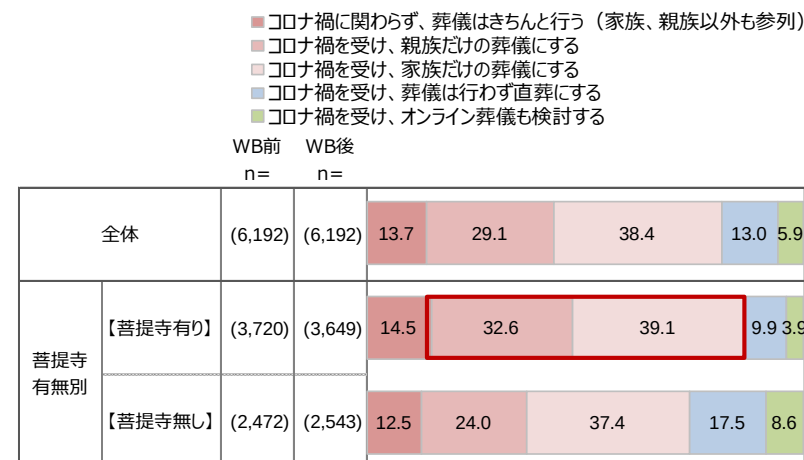
- 直葬の実施状況は、1割未満に留まるも、「今の時代は仕方ないと思う」が7割前後。「効率的」も5割半ばとなり、意向を示す人は3割半ばに。
- 一方、ただ、「本音を言えばいやだ」という人も5割近くおり、「菩提寺のある」人でその傾向が強い。
- 今後の葬儀意向は、「コロナ禍を受け、親族/家族だけの葬儀にする」がボリュームゾーン。「直葬」「オンライン葬儀」は相対的には低めに留まる。
- 直葬に対するイメージでは、菩提寺有無にかかわらず「費用が安く済む」がトップ。
- 「菩提寺のある」人では、「味気ない」「しっかりお葬式は出してあげたいので抵抗がある」が高い。

※全体ベース

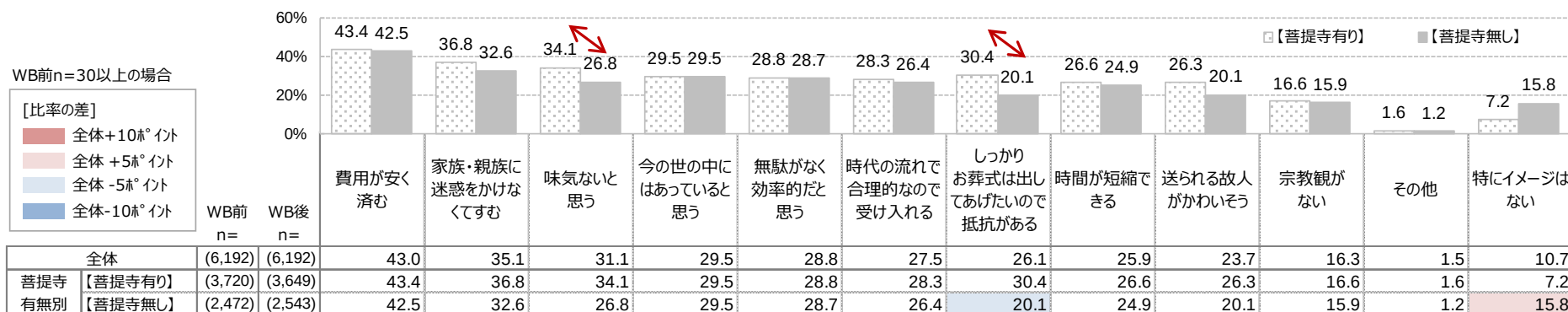
直葬の実施有無 & 意識 (Q30)



コロナ禍を経た後の今後の葬儀意向 (Q32)



直葬に対するイメージ (Q31)



※「全体」スコアで降順ソート

6. お寺のDX（デジタルトランスフォーメーション）について

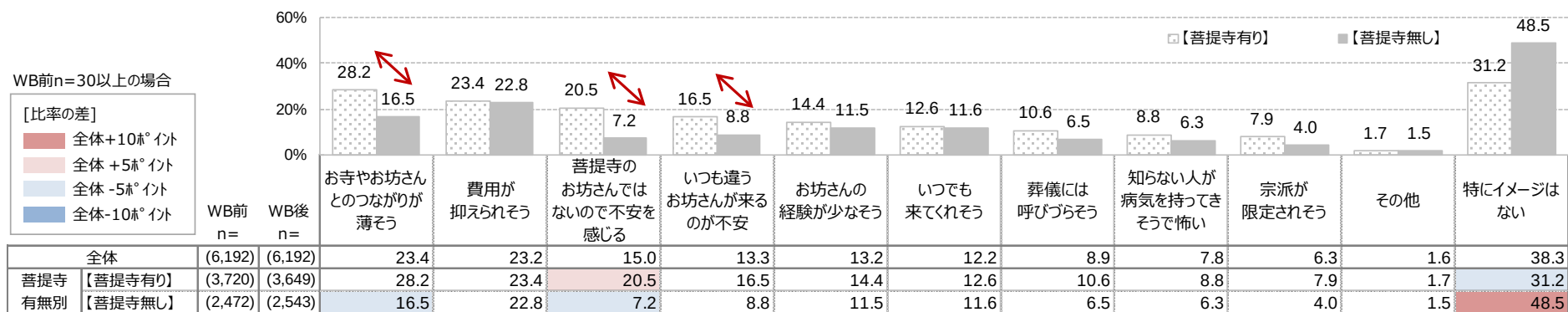
6-①. 僧侶派遣と各種オンラインサービス

菩提寺有りで「インターネット僧侶派遣」にネガティブな人が多い。また、オンラインサービスに対し「キャッシュレス」の親和性の高さが窺える。

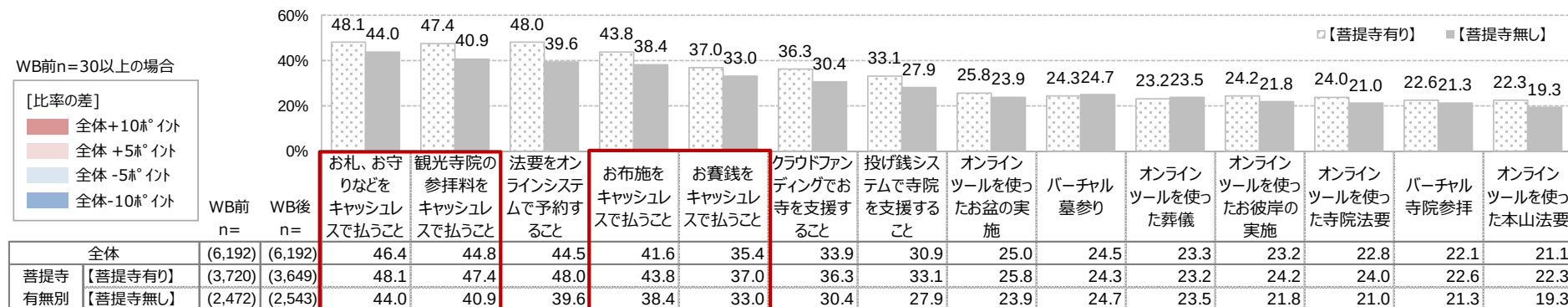
- 「インターネット僧侶派遣」へのイメージをみると、「菩提寺のある」人では「お寺やお坊さんとのつながりが薄そう」「菩提寺のお坊さんではないので不安」「いつも違うお坊さんが来るのが不安」などネガティブな反応が強い。
- 各オンラインサービスの利用意向は、菩提寺の有無にかかわらず、「お礼、お守りなどキャッシュレスで払う」「観光寺院の参拝料をキャッシュレスで払う」「法要をオンラインシステムで予約」「お布施をキャッシュレスで払う」「お賽銭をキャッシュレスで払う」など「キャッシュレス」関連が上位に。
- 国の施策の後押しなどもあり、キャッシュレスが浸透。若い世代では、宗教のサービスへの活用においてもポジティブな反応を示している。

※全体ベース

「インターネット僧侶派遣」に対するイメージ (Q33)



各種オンラインサービスの利用意向 (Q34)



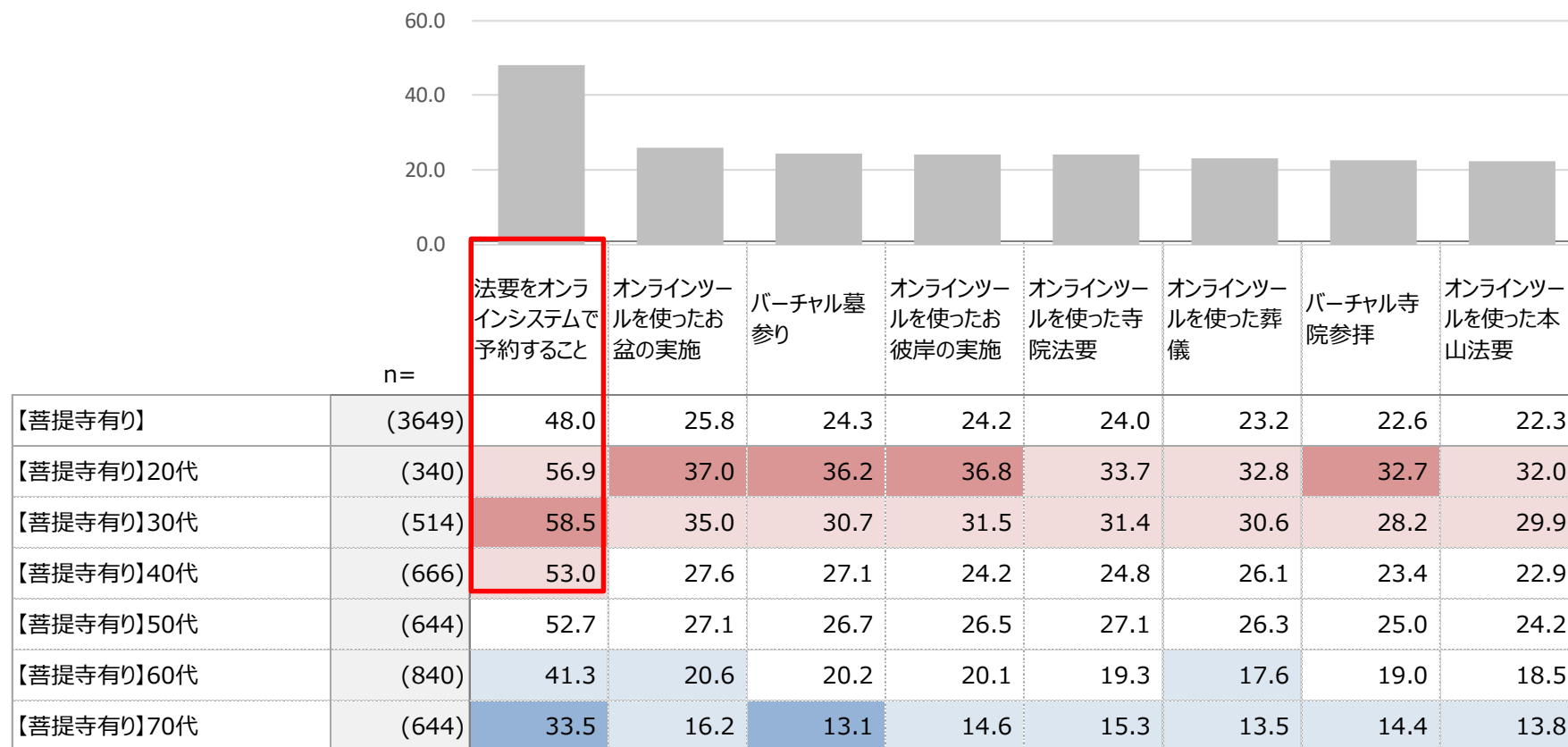
6－②．お寺のデジタルトランスフォーメーション（オンラインツール）

法要をオンラインシステムで予約することに関してはかなりの年代において、利用する/利用を検討する率が高い。

- 「法要のオンラインシステム予約を利用/検討する」比率と、「オンラインツールでのお盆、お墓参り、お彼岸の実施/検討する」比率には20%程度の乖離がある。
- このことから、法要の予約はオンラインでも良いが、実際の法要は人を介したリアルでの執行を求めていることが想定される。

お寺のデジタル化（利用する/利用を検討する）（Q34）

※菩提寺がある人ベース



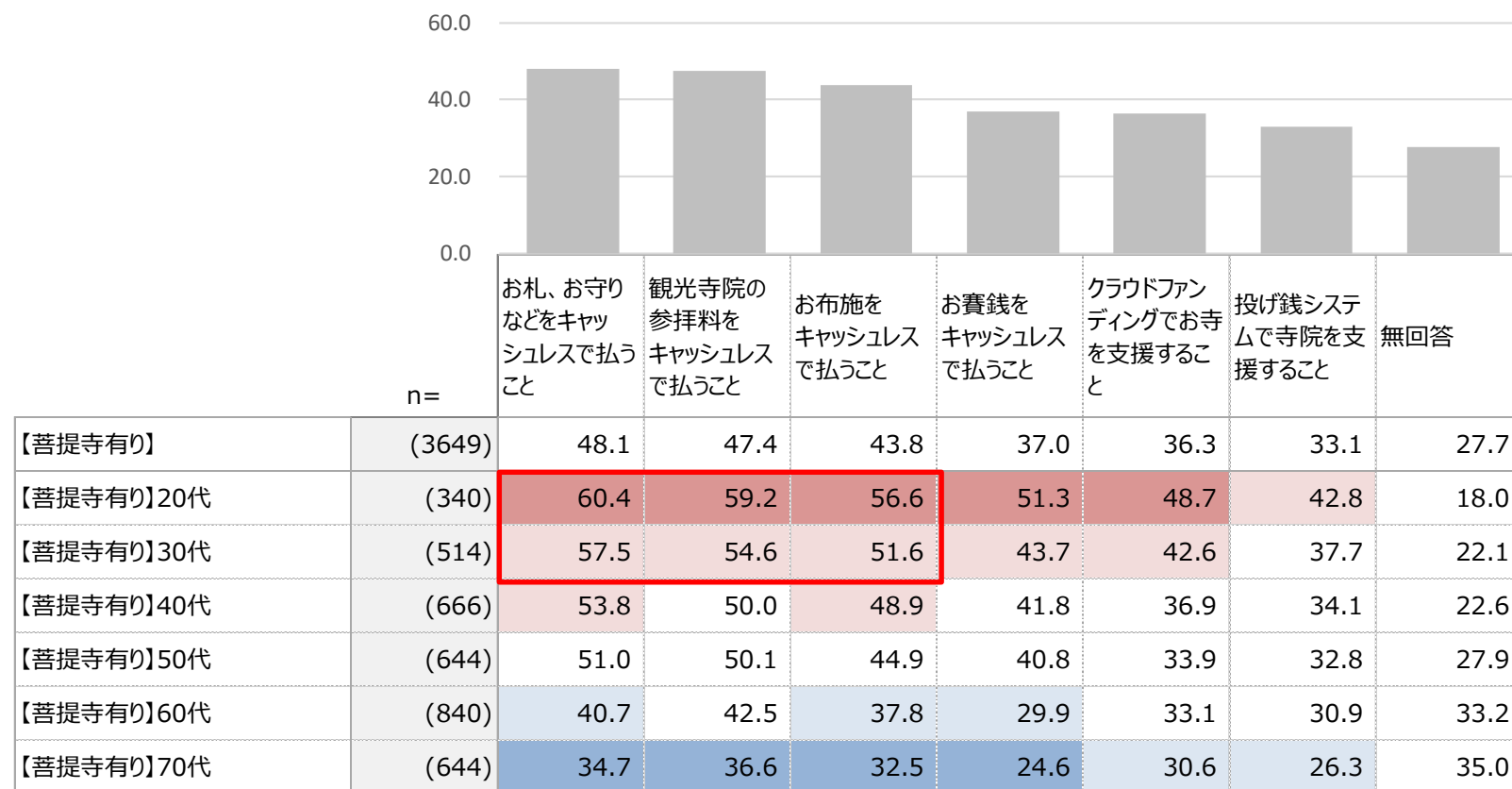
6－③．お寺のデジタルトランスフォーメーション（キャッシュレス）

お賽銭、お布施のキャッシュレスの容認は、年代により格差が大きく出ている。

- 「お札、お守りや観光寺院の参拝料をキャッシュレス決済すること」に関して20代、30代では50%以上が容認している。
- 一方で「クラウドファンディング」や「投げ銭システム」など、インターネットを通じて不特定多数からの募金、寄付は容認する比率が低く表れている。

お寺のデジタル化（利用する/利用を検討する）（Q34）

※菩提寺がある人ベース



7. コロナ禍において寺院・僧侶に期待すること

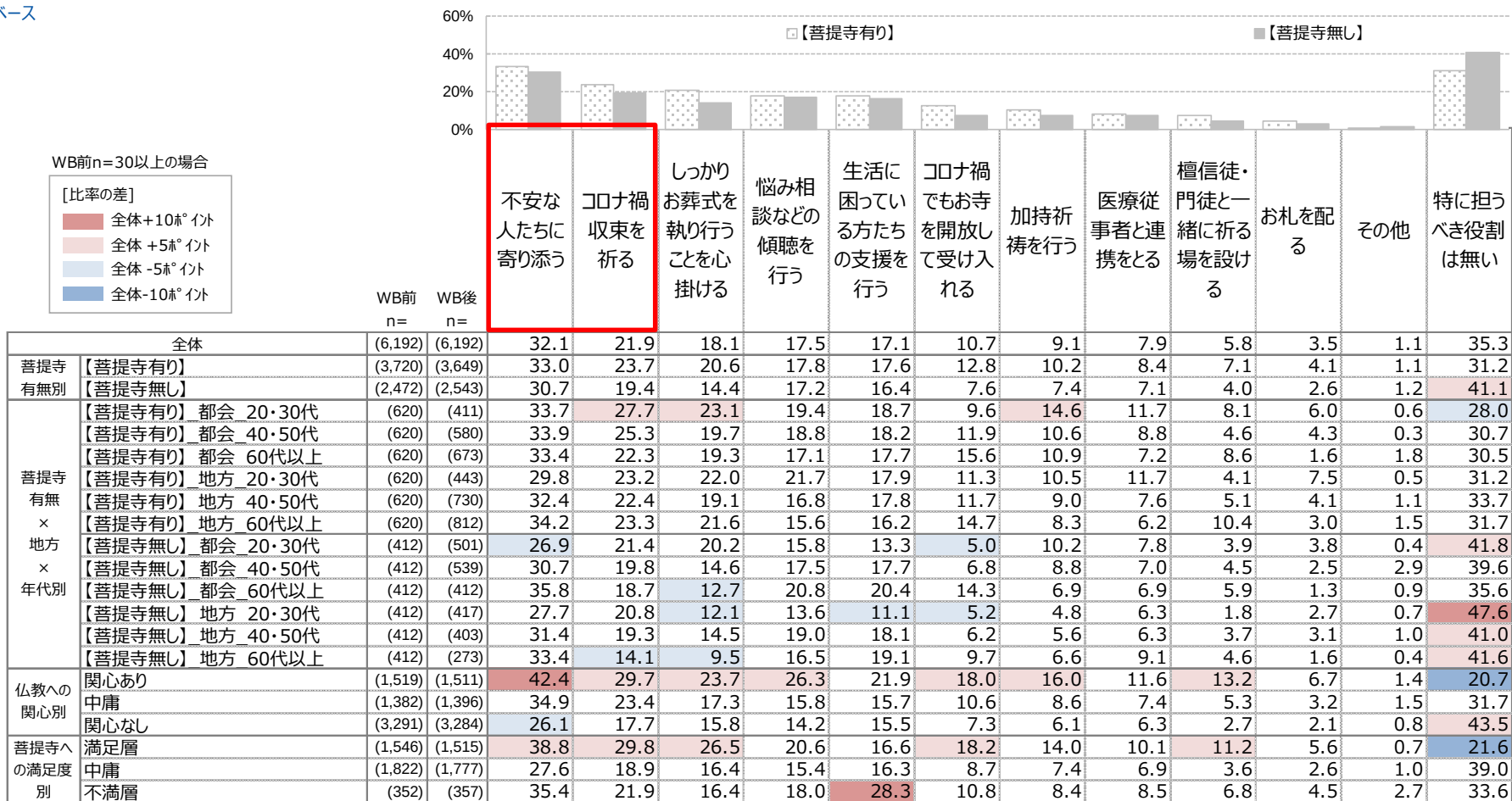
7-①. 今後、寺院・僧侶に求める役割

コロナ禍において寺院・僧侶に求められる役割は「不安な人たちに寄り添う」「コロナ禍収束を祈る」が上位。

- 「菩提寺の有無」や「仏教への関心の有無」に関わらず、コロナ禍において僧侶への期待は高く表れている。
- 通常の調査では「特になし（無関心）」の項目が高く表れることが多いが、本設問においては「特になし」の回答比率が3割台と低く表れている。
- 今回のコロナ禍においては「寄り添う」、「祈る」が強く表れていることが特徴的であり、それだけ寺院・僧侶に対しての期待は大きいと考えられる。

コロナ禍において寺院・僧侶はどのような役割を担うべきか (Q29)

※全体ベース



※「全体」スコアで降順ソート

〒105-0011

東京都港区芝公園4-7-4

公益財団法人 全日本仏教会

広報文化部

info@jbf.ne.jp

〒100-6752

東京都千代田区丸の内1丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー

大和証券株式会社

法人コンサルティング部 法人開発課

佐藤泰之

第一版

2020年10月1日（暫定版）

